

6 センターサイディングの重ね張り工法

6- 1	重ね張り工法の標準施工法
6- 2	施工上の注意事項
6- 3	本体詳細図
6- 4	納まり詳細図 センターサイディング横張り 既存外壁モルタル仕様
6- 5	納まり詳細図 センターサイディング縦張り 既存外壁モルタル仕様
6- 6	付属部材加工図

6 センターサイディングの重ね張り工法

6-1 重ね張り工法の標準施工法

1) 既存外壁の確認

- 既存外壁に新規胴縁および新規センターサイディングを支える構造耐力があるか、必ず現場確認を行ってください。
- 老朽化などにより、構造耐力が不足している場合は、既存外壁を撤去、補強の上、改修を行ってください。
- 既存外壁において漏水が確認された場合は、リフォーム前にその漏水の原因を究明し、その対策を含めたリフォーム計画を立案してから施工に着手してください。
- 胴縁とセンターサイディングの合計厚み分が外側へ増加します。突起物の有無を確認し、構造上や防水上支障のある突起物は極力取り除き、平らにしてください。

① 既存外壁がモルタル仕上げの場合の確認ポイント

- モルタルが下地にしっかり付着していることを確認します。
- 胴縁施工時に、不陸調整を必ず行います。
- モルタルに胴縁を取り付ける場合は、モルタルを剥離しないように注意してください。
- 胴縁は、事前に既存躯体(柱・間柱など)の位置を確認し、必ず躯体の位置に専用ビス(JKV1000: $\phi 4.8\text{mm} \times 90\text{mm}$)を用いて留め付けます。

② 既存外壁が窯業系サイディングの場合の確認ポイント

- 胴縁は、既存サイディング裏の躯体の位置に沿って、下地組みを行ってください。

③ 上記以外の場合の確認ポイント

- 角波、丸波のトタン張りなど既存外壁が金属系の場合は、凹凸がありますので既存外壁を取り除いてからの施工となります。(張り替え工法)

2) 外壁防水の考え方(P33参照)

- 既存外壁面を補修し、防水性能が確保できれば、原則として防水紙は不要です。
- 既存外壁面の防水補修が困難で防水紙に頼らざるを得ない場合は、既存外壁と胴縁の間に防水紙を張り、センターサイディングの裏面とは離します。防水紙は必ず透湿防水シートを使用します。

3) 胴縁下地組みの施工

- 胴縁は、既存壁内の躯体(柱、間柱など)に留め付けます。既存外壁材のみへの留め付けは行わないでください。
- 胴縁材はベイツガ材やスギ材などの乾燥材を使用し、厚みは18mm以上です。
- 既存壁がモルタルの場合、胴縁の留め付けには専用ビス(JKV1000: $\phi 4.8\text{mm} \times 90\text{mm}$)を用い、500mm以下の間隔で留め付けます。専用ビスは、基本的に振動ドリルで施工してください。既存モルタルの状況により施工できない場合は、モルタル壁に $\phi 3.5\text{mm}$ 以下の先孔をあけて施工します。
- 既存壁がサイディングの場合、胴縁の留め付けはコーススレッドなど保持力の大きいビスを用い、500mm以下の間隔で留め付けます。ビスの長さは、柱・間柱などの躯体へ25mm以上かかる長さで、ビス径は $\phi 3.8\text{mm}$ 以上とします。

6 センターサイディングの重ね張り工法

6-2 施工上の注意事項

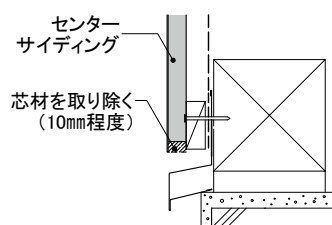
1) より良い仕上がりのために

- 使用面積に応じた製品の量を手配してください。追加製品ではロットの違いにより多少の色差が生じることがあります。
- 土台部出隅・入隅などで、付属部材(土台水切、受け、スターターなど)が複数重なって使用される部位や先付け付属部材の接合部分では、カバーの浮き上がり防止のため、先付け付属部材を十分押さえつけてください。
- カバーなどの後付け付属部材の差し込みが硬い場合は、当て木などをあて徐々に差し込んでください。直接たたくと変形や破損の原因となります。
- 不具合による手戻りを防止するため、施工途中での仕上がりチェックをお勧めします。

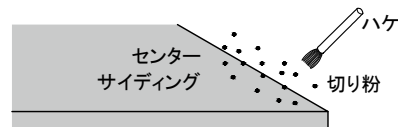
2) 切断加工について

- センターチップソー(FX125B、FX100B)を使用してください。
- 切断部が露出する場合は、芯材の吸水を防止するために、切断部の芯材を10mm程度切り取ってください。(表面材と芯材との間を切り込み過ぎると剥離が生じ、反りが発生しやすくなります。)
- 切断部のバリはやすりなどで取り除いてください。
- 切断時に発生した切り粉による錆び発生を防止するため、切断後、ハケなどで必ず切り粉を払ってください。
- 表面に傷がつかないように、表面を下側にして切断してください。また、バリ防止のため、ノコ刃の回転方向は図のようにしてください。
- M型スマートフラット、N型カーレンリーフ、NS型ネオスパン、CS型センタースパン、ST型センターストライプは、パッキン材の飛び出し防止のため、メス側(下実側)から切断します。
- 表面材に無理な力がかかることを防止するため、角を切り取る際は切断部分を正確に測って切断し、無理なはめ込みは避けてください。
- 付属部材端部は、ケガ防止のため板金加工を施してください。

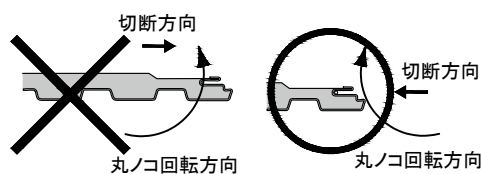
＜切断部が露出する部位の例＞



＜切断時の切り粉＞

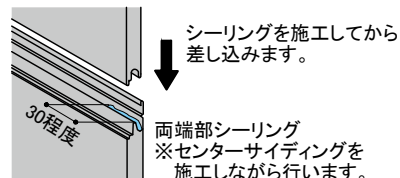


＜ノコ刃の方向＞



3) センターサイディング施工時のシーリングについて

- センターサイディングを横張りで施工する場合は、雨水の横走り防止のため、本体左右端部の嵌合部差し込み溝内部に捨てシーリングを施工します。
- センターサイディングを縦張りで施工する場合は、下端部に水が滞留しないようにシーリングは施工しません。
- 受けなどの先付け付属部材は、指定の部位に捨てシーリングを施工します。この際、捨てシーリングが浸入した水の排出を妨げないように注意してください。
- 本体の芯材はシーリングと接着しません。シーリング工事の際は、表面の金属部を折り曲げ、シールポケットを作ります。



4) 錆防止について

- 特に鉄骨造では、セルフドリリングビス留め付け時の切り粉による錆発生を防止するため、ビス留め後、切り粉を払ってください。

6 センターサイディングの重ね張り工法

6-2 施工上の注意事項

5) 先付け付属部材の施工ポイント

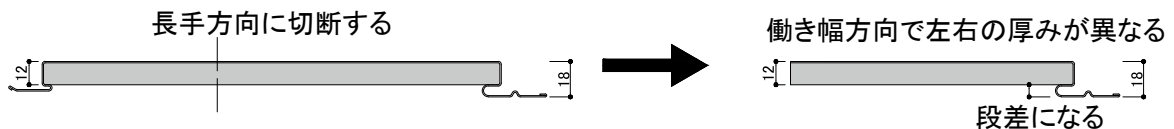
- 土台水切、出入隅の受け、見切縁などの先付け付属部材は、専用ビスで胴縁に留め付けてください。
- 先付け付属部材の継ぎ部分は、カバーなどの後付け付属部材の浮き上がり防止のため、十分に押さえて固定してください。
- 土台水切やスターターは、水準器などを用いて水平を確認してください。
- 受けなどの先付け付属部材は、捨てシーリングを施工します。ダムにならないよう注意してください。(位置については、各部詳細図をご参照ください。)
- 中間水切は、下部のセンターサイディング本体の施工後に取り付けます。
- 開口部まわりは、アングル20×40を取り付けて胴縁をカバーします。

6) センターサイディングの留め付けについて

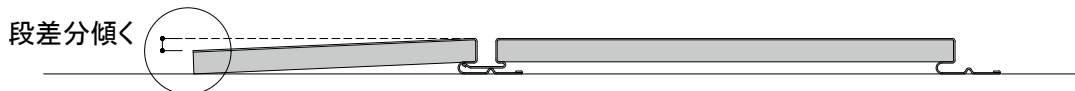
- センターサイディングおよび付属部材は、下表の釘またはビスで留め付けてください。

既存躯体(下地)	下実部留め付け	表面より留め付け	専用部材の留め付け
モルタル下地 窯業系サイディング	品番:JK1130 重ね張り専用ビス (φ4.1mm×16mm)	品番:JK1710 ステンレスビス (φ4.1mm×27mm)	品番:JK1130 重ね張り専用ビス (φ4.1mm×16mm)

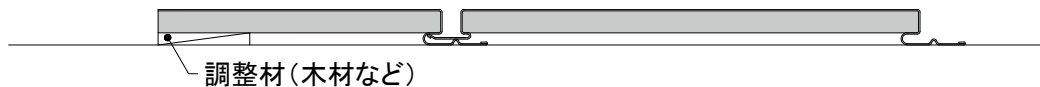
- 本体2枚ごとに働き幅と水平を確認してください。
- 打ち抜きを防止するため、釘打ち機は使用しないでください。
- 糸目地タイプのセンターサイディング(F型、FB型、FN型)では、変形防止のため、強く押しつけながら差し込まないでください。
- A型を施工する場合には下記の点に注意して施工してください。
 - ① A型を長手方向に切断すると、実形状および芯材の厚みにより、働き幅方向の厚みが変わります。



- ② このまま施工すると、張り始めと張り終わりで本体が傾いてしまいます。(下図○部)



- ③ ②の状態では外観や役物との納まりが悪いため、面があうように調整材を追加します。

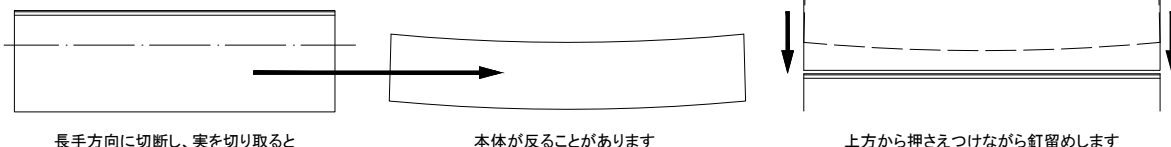


- ④ 端部に付属部材を施工する場合には、付属部材の厚みを考慮して調整材を選定してください。

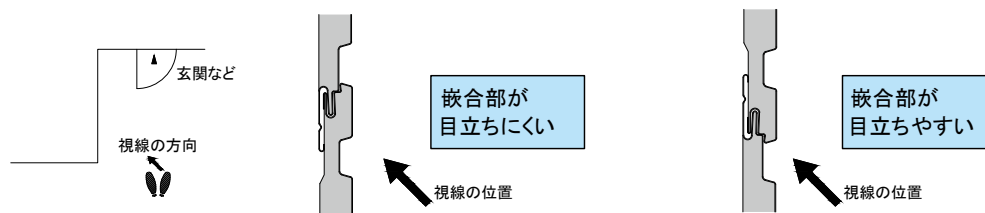
6 センターサイディングの重ね張り工法

6-2 施工上の注意事項

- 横張り時、軒天部で最上段のセンターサイディングは軒天までの寸法にあわせて長手方向に切断し、一旦見切縁などの奥(軒天側)まで差し込んでから、下段の本体に嵌合させます。
- 横張り時の軒天部など、センターサイディングを長手方向に切断すると本体が反る場合があります。施工の際は、本体の上部から下部へと押さえつけながら、胴縁に表面から釘留めしてください。釘頭は補修塗料で補修してください。



- 縦張り時、張り始めと張り終わりで本体の倒れを防止するため、必要に応じて先付け付属部材と本体裏面との間に調整材(合板などを小割りにして現地加工したもの)を入れます。
- 縦張り時、張り始めと張り終わりを胴縁に表面から釘留めし、釘頭を補修塗料で補修してください。
- NS型、CS型、ST型を縦張りで施工する場合、柄と嵌合の特性上見る方向によって目地部の目立ち方が異なります。張り始めの方向にご注意ください。



7) 補修について

- 表面の洗浄などメンテナンスについては、最新の「NICHIBA金属製外壁材・屋根材総合カタログ」をご参照ください。表面へのキズを防止するため、足場を撤去する際は十分にご注意ください。

8) 補修塗装手順

センターサイディングには専用の補修塗料を用意していますが、適切な補修がなされないこと色違いなどの原因となるおそれがあります。使用に際しては下記に注意してください。

①天候確認

- 補修の前日および当日が降雨・降雪の場合は補修塗装を行わないでください。
- 施工時の気温が5℃以上の時に行ってください。

②色調の確認

- 色が均一になるまで十分に振った後、端材などに試し塗りをして色調を確認してください。

③補修面の処理

- 汚れ、埃、水分などを除去してください。

④補修塗装

- 補修塗料には攪拌球がセットされています。カチカチと音がするまでよく振ってからご使用ください。

※プレミアムSPの補修塗料(表面色)には、攪拌球が入っておりません。

- 必要以上に塗り広げないように、かつ、厚く塗らないようにしてください。

- 塗装終了後は蓋をしっかりと閉め、冷暗所に保管してください。

※補修塗料は色調をセンターサイディングに合わせてありますが、塗布量・塗布方法・艶などにより補修箇所が目立つ場合がありますので、塗布面積は必要最小限としてください。

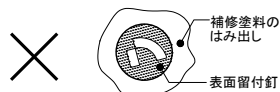
塗布面積が大きくなると違和感が生じるおそれがあります。



補修塗料の蓋中央にある色見本と同色になるまで充分に振り、必ず端材などに試し塗りをしてください。特に多色品は塗布する箇所に近い色を選定してください。

9) 釘頭の補修塗装

センターサイディング全ての釘頭・ビス頭の補修は、目立つ箇所のみとし、周辺に塗り広げないよう最小限に塗布します。



禁止 釘頭より広く塗り広げたり、厚く塗布しないでください。広げたり、塗布量が多くても、施工途中は足場やネットがあり暗いのでわかりにくい場合があります。足場などが外れると外観上かなり目立つ場合があります。丁寧に塗布してください！

6 センターサイディングの重ね張り工法

設計
外壁リフォーム

事前調査の方法

外壁リフォーム
標準施工法

モエンサイディング
重ね張り工法

モエンサイディング
張り替え工法

センターサイディング
重ね張り工法

設計
屋根リフォーム

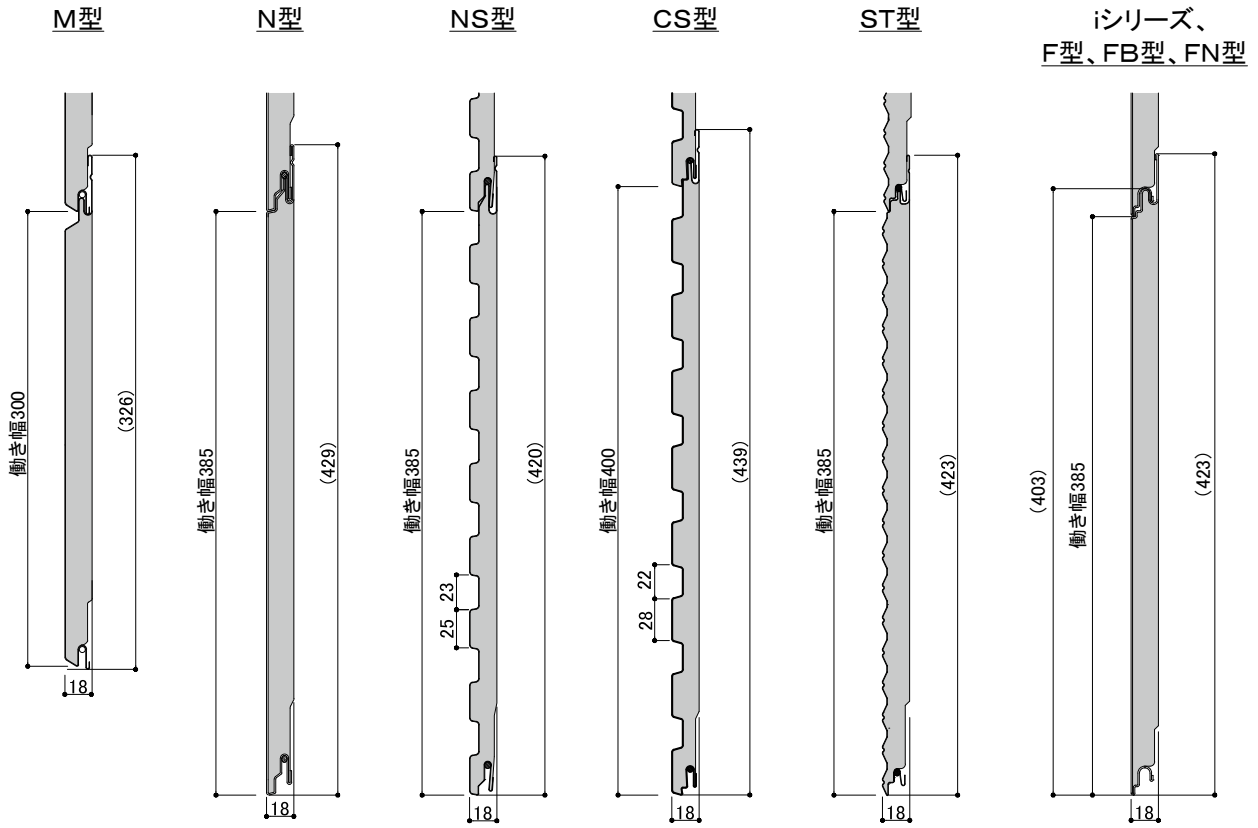
センタールーフ
重ね葺き工法

アルマ
重ね葺き工法

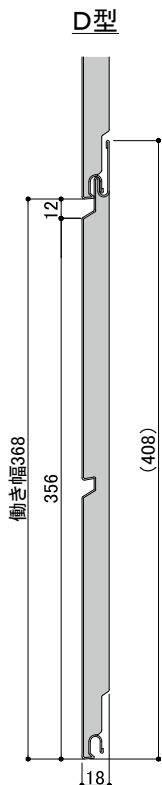
参考資料

6-3 本体の詳細図

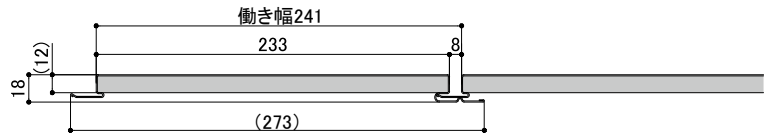
1) 縦張り・横張り兼用品



2) 横張り専用品



3) 縦張り専用品



注 意

A型は長手方向に切断すると、実形状および芯材の厚みにより、働 き 幅 方向の厚みが変わります。このまま施工すると、張り始めと張り終わりで本体が傾いてしまうため、あらかじめ調整材を施工してください。調整材は付属部材（見切縁、受け材など）の厚みを考慮してください。

調整材(木材など) A型

6-4 重ね張り工法の納まり詳細図

センターサイディング

横張り

既存外壁
モルタル仕様

1)基本構成図・下地組図	
2)主要部材一覧表	
3)土台部	水切34
4)上下接合部	
5)左右接合部	①目地鋼板受け+NS目地カバー ②目地鋼板受け+NS段目地
6)入隅部	①土台 N見切縁18 ②軒天 通気見切縁21
7)出隅部	①土台 S出隅鋼板受け18+S出隅カバー ②軒天 通気見切縁21
8)開口部	①上側 N端部カバー+アングル20×40 ②下側 N見切縁18+アングル20×40 ③左右側 N見切縁18+アングル20×40 ④角部 N端部カバー+N見切縁18
9)軒天部	通気見切縁21
10)オーバーハング部	オーバーハング水切+N端部カバー
11)下屋根部	①棟側 N端部カバー ②流れ側 N端部カバー

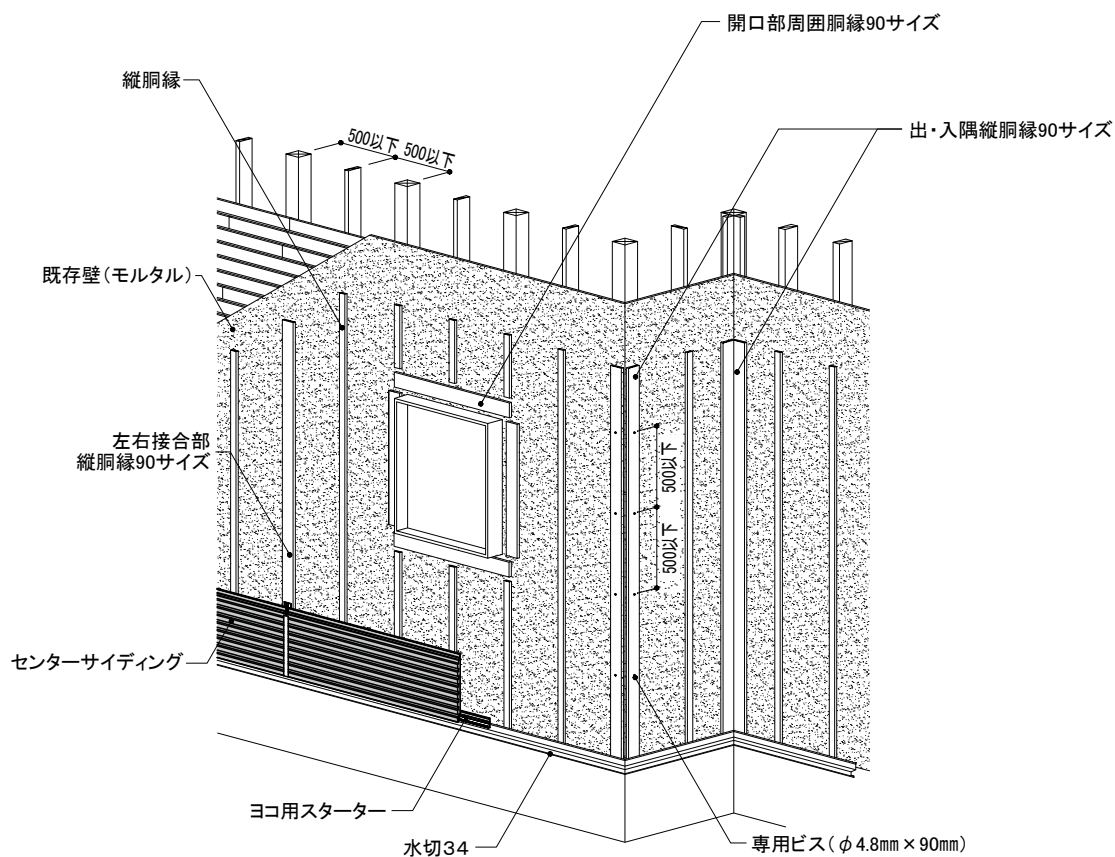
本章は、基本的な納まり例を記載していますので、注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

※本章はNS型ネオスパンで作図しています。

センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	横	縦胴縁@500mm以下

1) 基本構成図・下地組図

- 水切34を胴縁に取り付けます。
- 木胴縁は、厚み18mm以上の乾燥材を使用します。
- 木胴縁の幅は45mm以上を標準サイズとし、出入隅部や左右接合部、開口部まわりなどの指定箇所には倍幅の90mm、または45mm幅2本組みとします。
- 木胴縁を留め付ける前に、既存モルタル下地の不陸状態を確認します。不陸は不陸調整材などを使用し、専用ビス(φ4.8mm×90mm)を用いて500mm以下の間隔で躯体に留め付けます。
(不陸調整方法:P36参照)
- 縦胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。



設計
外壁
リフォーム

事前
調査の
方法

標準
施工
工法
外壁
リフォーム

モエン
サイデ
ィング
重ね
張り
工法

モエン
サイデ
ィング
張り
替え
工法

センター
サイデ
ィング
重ね
張り
工法

設計
屋根
リフォー
ム

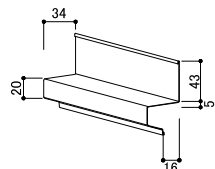

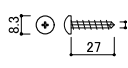
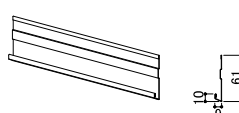
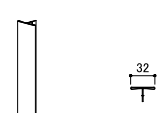
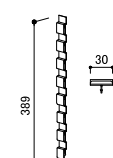
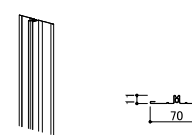
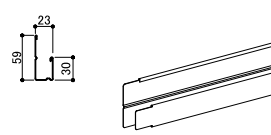
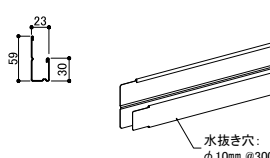
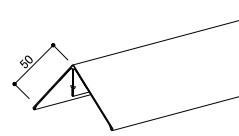
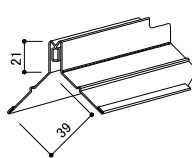
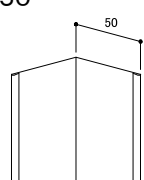
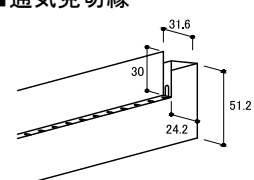
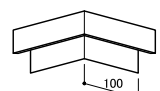

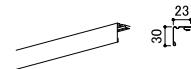
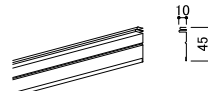
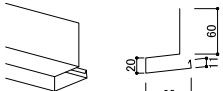
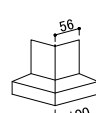
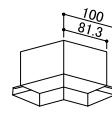
センター
ルー
フ
重ね
葺き
工法

アル
マ
重ね
葺き
工法

参考
資料


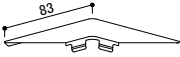

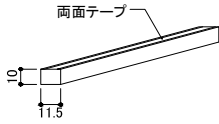
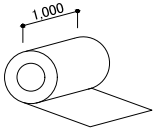
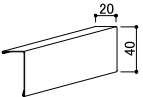
センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	横	縦胴縁@500mm以下

2) 主要部材一覧表

<p>■水切</p>  <p>水切34 【品番: AMZ7F0**】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.35mm 長さ: 3.030mm</p>	<p>■留付ビス(実部)</p>  <p>重ね張り工法用専用ねじ 【品番: JK1130】 材質: ステンレス サイズ: φ4.1mm × 16mm</p>	<p>■留付ビス(表面)</p>  <p>ステンレスビス 【品番: JK1710】 材質: ステンレス サイズ: φ4.1mm × 27mm</p>	<p>■スターター</p>  <p>ヨコ用スターター 【品番: AST2F00A】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ: 3.030mm</p>
<p>■目地カバー</p>  <p>NS目地カバー 【品番: AMJ3F0**】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.35mm 長さ: 3.030mm</p>	<p>■目地カバー</p>  <p>NS段目地 【品番: ADM5F0**】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.35mm 長さ: 389mm</p>	<p>■目地受け</p>  <p>目地鋼板受け 【品番: AMU6F00A】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ: 3.030mm</p>	<p>■見切縁</p>  <p>N見切縁18 【品番: AMKEF0**】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.35mm 長さ: 3.030mm</p>
<p>■端部カバー</p>  <p>N端部カバー 【品番: AMKFF0**】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.35mm 長さ: 3.030mm 水抜き穴: φ10mm @300mm</p>	<p>■出隅カバー</p>  <p>S出隅カバー 【品番: ADS2*0**】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.35mm 長さ: 3.030mm</p>	<p>■出隅鋼板受け</p>  <p>S出隅鋼板受け18 【品番: ADU1F00A】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ: 3.030mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番: JR1900】 材質: 高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.27mm 長さ: 3.030mm</p>
<p>■通気見切縁</p>  <p>通気見切縁21 【品番: FTM21**】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.35mm 長さ: 3.030mm</p>	<p>■通気見切縁出隅</p>  <p>通気見切縁21出隅 【品番: FTM21**B】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.35mm</p>	<p>■通気見切縁入隅</p>  <p>通気見切縁21入隅 【品番: FTM21**D】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.35mm</p>	<p>■廻り縁カバー</p>  <p>N廻り縁カバー18 【品番: AMW8F***】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ: 3.030mm</p>
<p>■廻り縁受け</p>  <p>S廻り縁鋼板受け 【品番: AMW3F00A】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.27mm 長さ: 3.030mm</p>	<p>■オーバーハング水切</p>  <p>オーバーハング水切 【品番: JOH72**】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.35mm 長さ: 3.030mm</p>	<p>■オーバーハング水切出隅</p>  <p>オーバーハング水切出隅 【品番: JOH72**B】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.35mm 長さ: 100mm</p>	<p>■オーバーハング水切入隅</p>  <p>オーバーハング水切入隅 【品番: JOH72**D】 材質: 塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み: 0.35mm 長さ: 100mm</p>

※各部材は、2022年3月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA金属製外壁材・屋根材総合カタログでご確認ください。

センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	横	縦胴縁@500mm以下

2) 主要部材一覧表			
<p>■ オーバーハング水切 エンドキャップ</p>  <p>オーバーハング水切エンドキャップ 【品番:JOH72**C】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm</p>	<p>■ 見切コーナー</p>  <p>N見切コーナー 【品番:AMC****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm</p>	<p>■ 段付バッカー材</p>  <p>NS型段付バッカー材 【品番:ABK4Q0JL】 材質:発泡ポリエチレン 幅:13mm 長さ:385mm</p>	<p>■ バッカー材</p>  <p>CSバッカー材 【品番:ABK5Q0J3】 材質:EPDM 幅:11.5mm 厚み:10mm 長さ:2,000mm</p>
<p>■ 共板</p>  <p>共板フラット 【品番:ECL1F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 幅:1,000mm×長さ10m</p>	<p>■ アンゲル</p>  <p>アンゲル20×40 【品番:AAN1****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>		

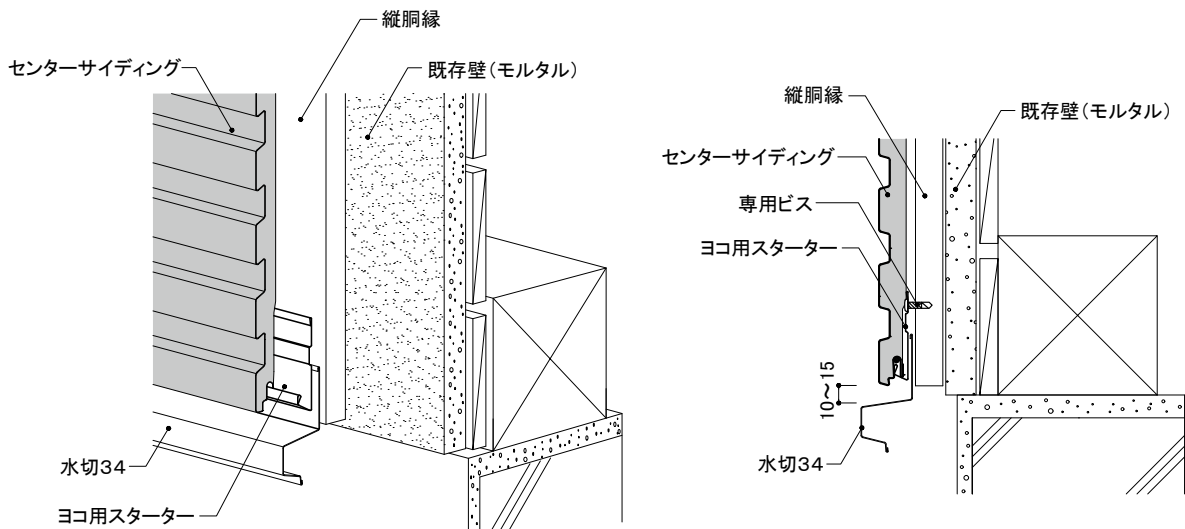
※ 各部材は、2022年3月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA金属製外壁材・屋根材総合カタログでご確認ください。

- 設計 外壁リフォーム
- 事前調査の方法
- 標準施工法 外壁リフォーム
- 重ね張り工法 モエンサイディング
- 張り替え工法 モエンサイディング
- センターサイディング
重ね張り工法
- 設計 屋根リフォーム
- 重ね葺き工法 センタールーフ
- 重ね葺き工法 アルマ
- 参考資料

センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	横	縦胴縁@500mm以下

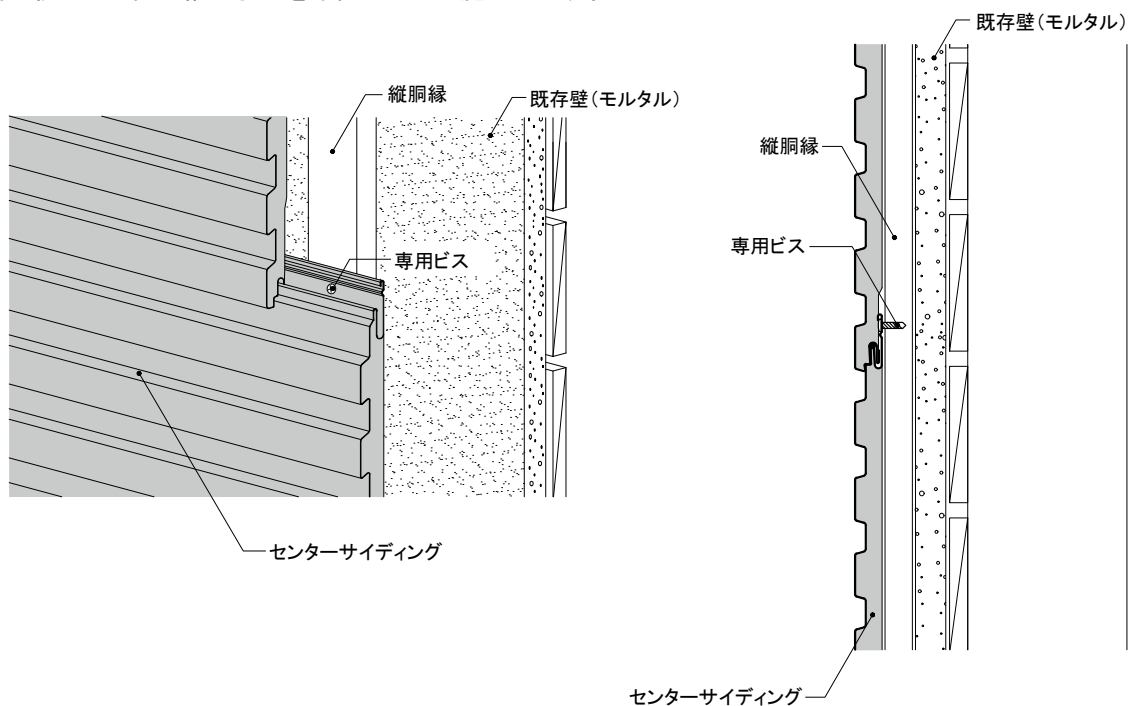
3) 土台部	水切34
--------	------

- 水切34は、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で胴縁ごとに水平に留め付けます。
- ヨコ用スターターは、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で胴縁ごとに水平に留め付けます。
- センターサイディング下端と水切34の間に、10～15mmの隙間を設けます。



4) 上下接合部	
----------	--

- 実を確実に嵌合させ、センターサイディングは専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で胴縁ごとに留め付けます。
- 本体2枚ごとに働き幅と水平を確認しながら施工します。

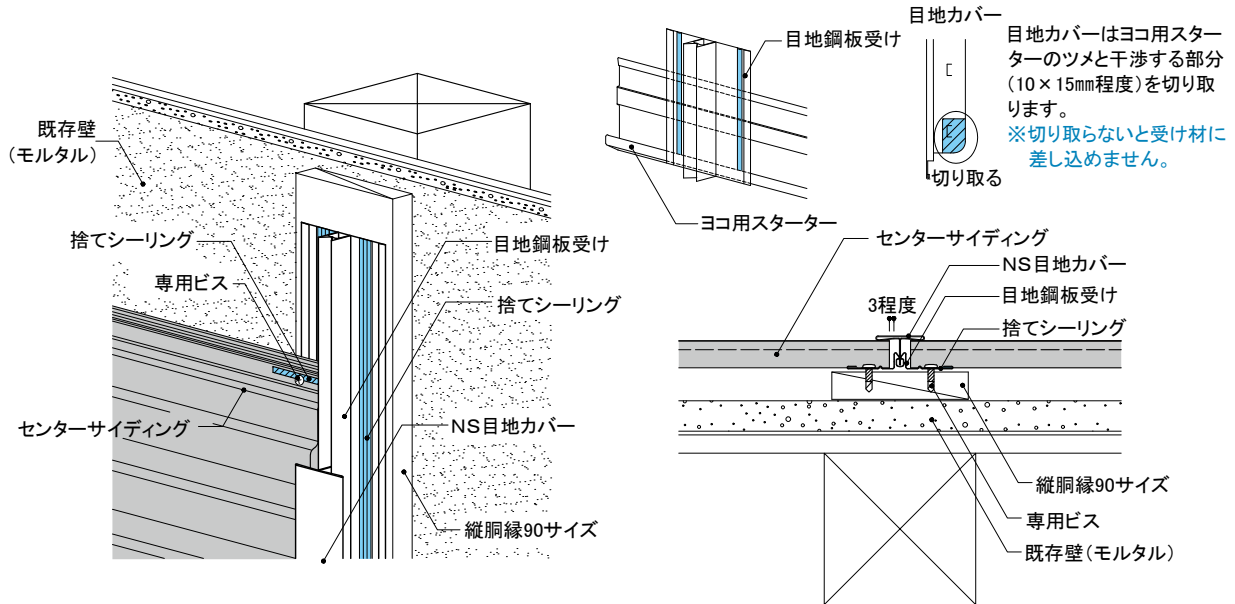


センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	横	縦胴縁@500mm以下

5) 左右接合部

① 目地鋼板受け+NS目地カバー

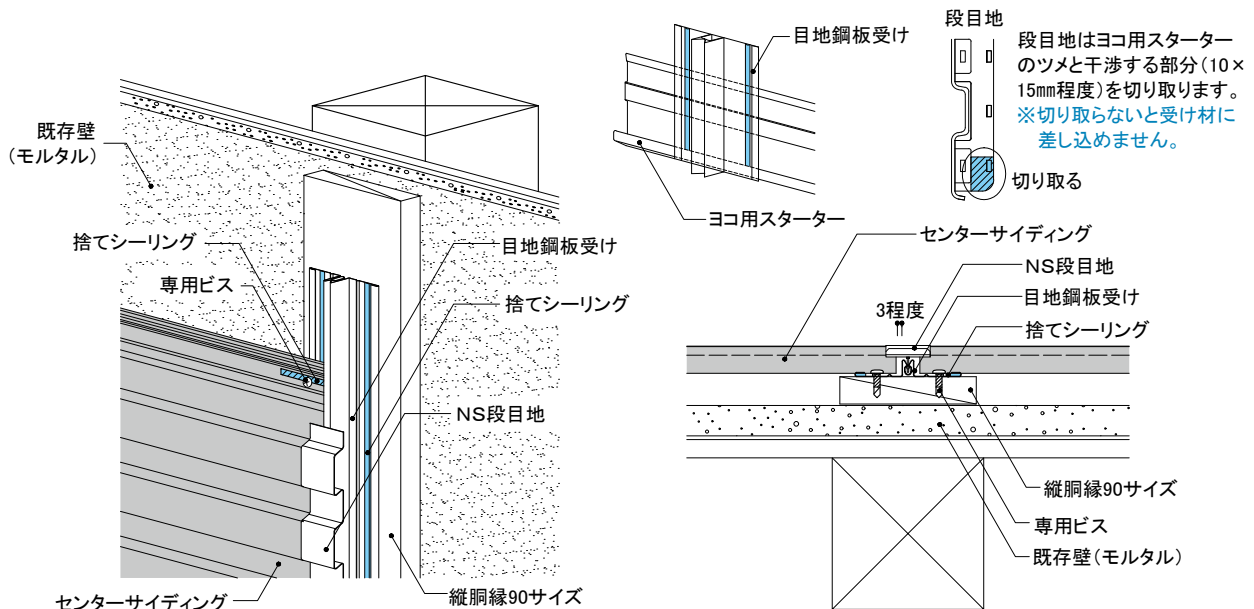
- 土台部はヨコ用スター勝ちとし、目地鋼板受けは専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で1m以下の間隔で取り付けます。両側端部に捨てシーリングを施工します。
- センターサイディングの留め付けは、縦胴縁の端あきを10mm以上確保します。また、センターサイディングと目地鋼板受けは、図のように3mm程度隙間を設けます。
- NS目地カバーはヨコ用スターのツメと干渉する部分を10×15mm程度切り落として、目地鋼板受けに差し込みます。



5) 左右接合部

② 目地鋼板受け+NS段目地

- 目地鋼板受けは専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で1m以下の間隔で取り付け、両側端部に捨てシーリングを施工します。
- センターサイディングの留め付けは、縦胴縁の端あきを10mm以上確保します。また、センターサイディングと目地鋼板受けは、図のように3mm程度隙間を設けます。
- 土台部はヨコ用スター勝ちとし、目地カバーはヨコ用スターのツメと干渉する部分を10×15mm程度切り落として目地鋼板受けに差し込みます。



設計
外壁
リフォーム

事前
調査の
方法

標準
施工
工法

モ
エン
サイ
ディ
ング

モ
エン
サイ
ディ
ング

セ
ン
タ
ー
サ
イ
ディ
ング

屋
根
リ
フ
ォ
ー
ム

セ
ン
タ
ー
リ
フ
ォ
ー
ム

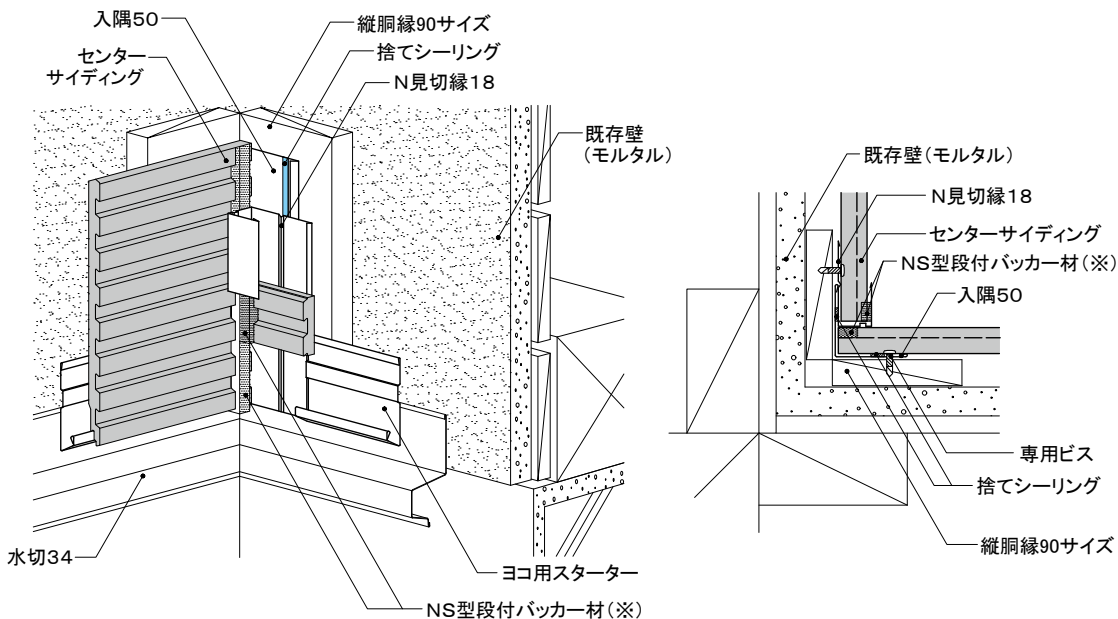
ア
ル
マ

参
考
資
料

センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	横	縦胴縁@500mm以下

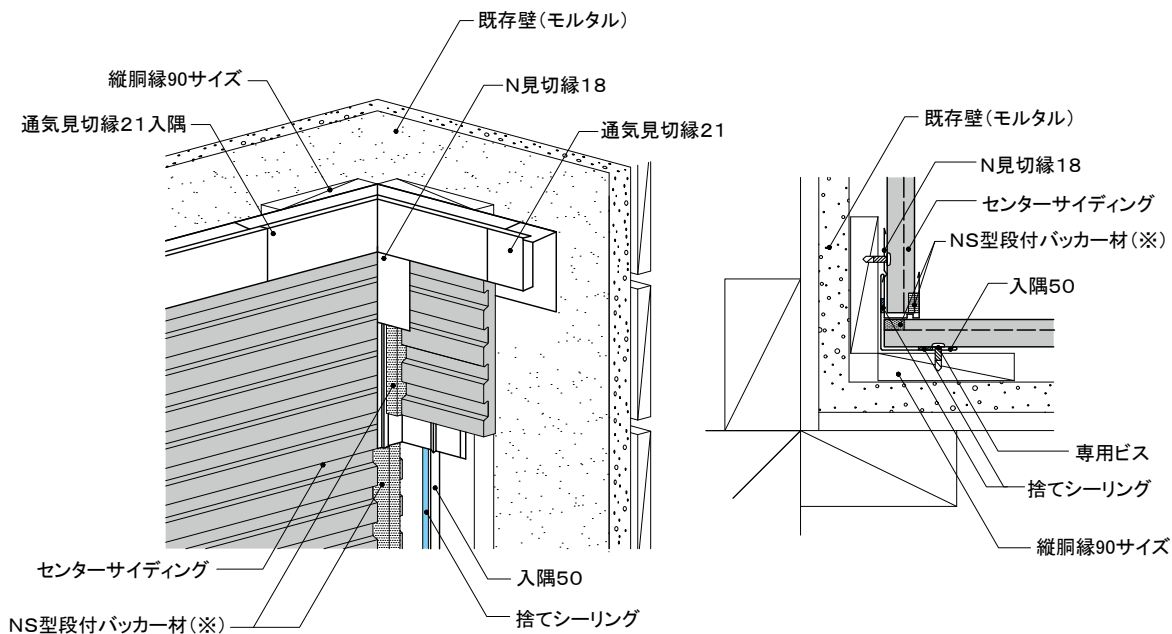
6) 入隅部	①土台 N見切縁18
--------	------------

- 入隅50を取り付け、捨てシーリングを図のように両側端部に施工します。
- センターサイディング端部に必要に応じてNS型段付バック材を貼り付けます。(※)
- 先施工側のセンターサイディングを施工後、図のように捨てシーリングを施工し、N見切縁18を取り付けます。
- 後施工側のセンターサイディングをN見切縁18に差し込み、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で実部に留め付けます。



6) 入隅部	②軒天 通気見切縁21
--------	-------------

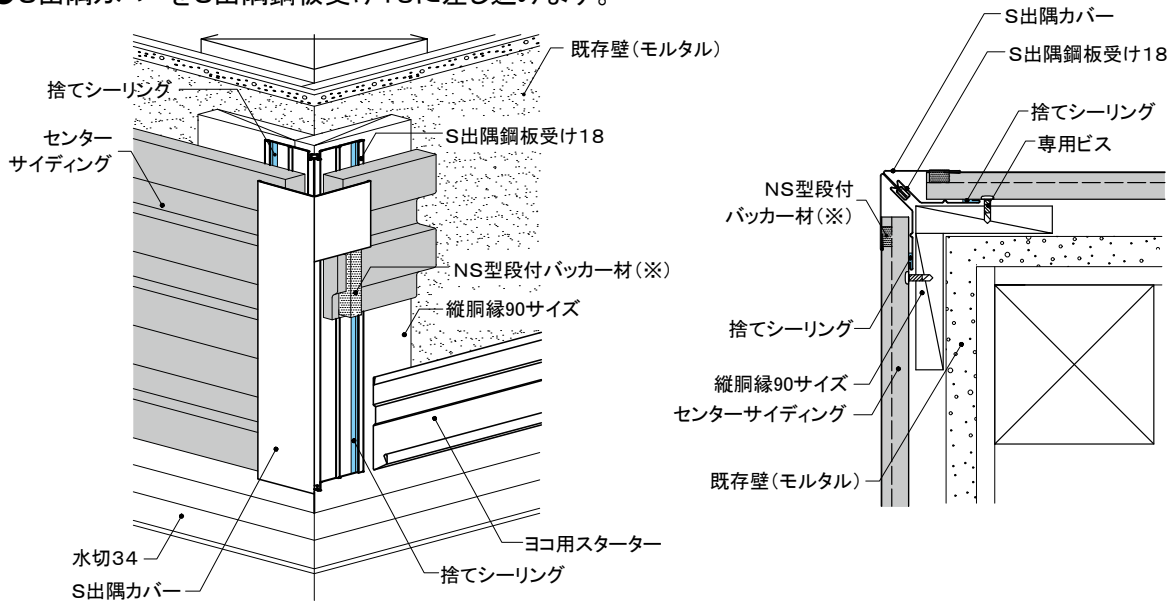
- 入隅50を取り付け、捨てシーリングを図のように両側端部に施工します。
- センターサイディング端部に、必要に応じてNS型段付バック材を貼り付けます。(※)
- 最上段のセンターサイディングは通気見切縁21に差し込み、表面から専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×27mm)で留め付けます。



センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	横	縦胴縁@500mm以下

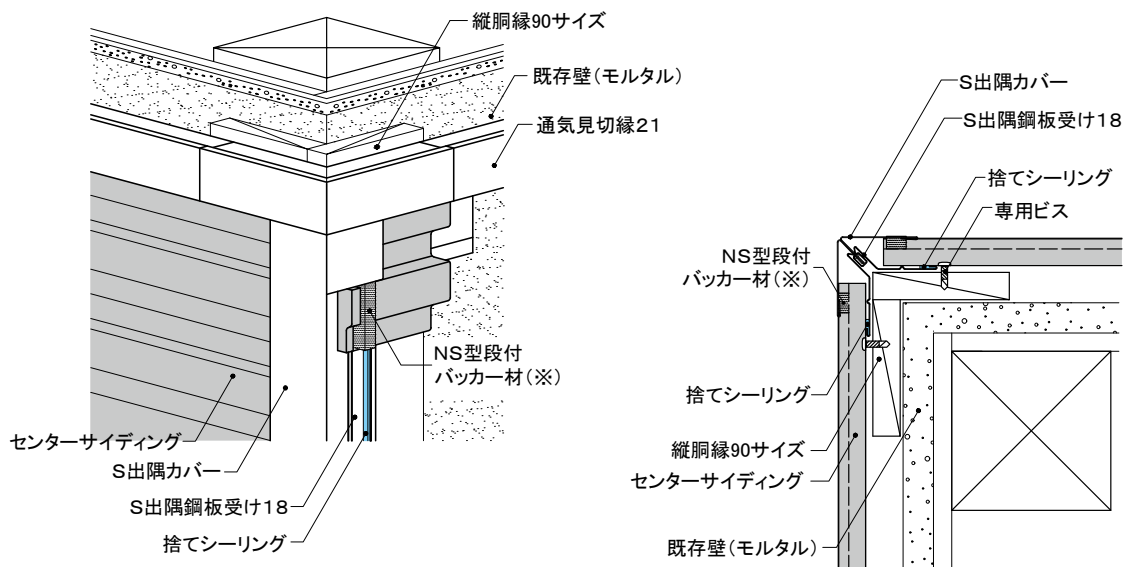
7) 出隅部	①土台 S出隅鋼板受け18+S出隅カバー
--------	----------------------

- S出隅鋼板受け18は水切34から10～15mmの隙間を設けて取り付けます。S出隅鋼板受け18の両側端部に捨てシーリングを施工します。
- ヨコ用スターターはS出隅鋼板受け18から10mm程度離して取り付けます。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてNS型段付バッカー材を貼り付けます。(※)
- S出隅カバーをS出隅鋼板受け18に差し込みます。



7) 出隅部	②軒天 通気見切縁21
--------	-------------

- 通気見切縁21を取り付けた後、S出隅鋼板受け18を水切34から10～15mmの隙間を設けて取り付けます。S出隅鋼板受け18の両側端部に捨てシーリングを施工します。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてNS型段付バッカー材を貼り付けます。(※)
- 最上段のセンターサイディングは通気見切縁21に差し込み、表面から専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- S出隅カバーをS出隅鋼板受け18に差し込みます。



設計
外壁
リフォーム

事前
調査の
方法

標準
施工
法

外壁
リフォーム
モエン
サイディ
ング
重ね
張り工
法

モエン
サイディ
ング
張り
替え工
法

センター
サイディ
ング
重ね
張り工
法

設計
屋根
リフォー
ム

センター
ルーフ
重ね
葺き工
法

アルマ
重ね
葺き工
法

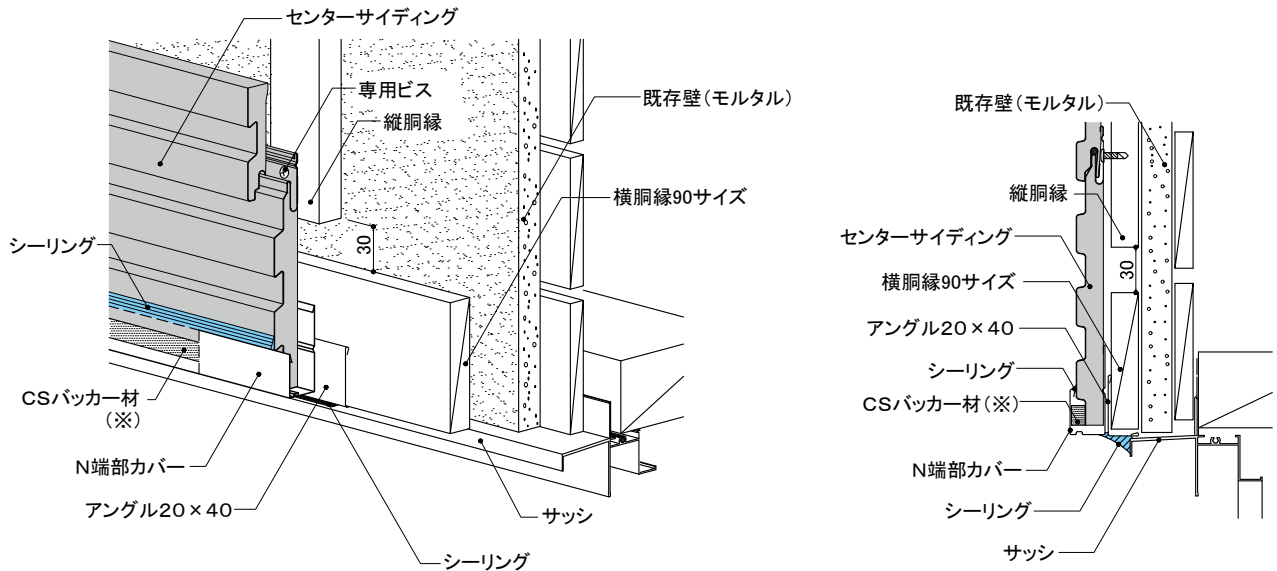
参考
資料

センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	横	縦胴縁@500mm以下

8) 開口部

①上側 N端部カバー+アングル20×40

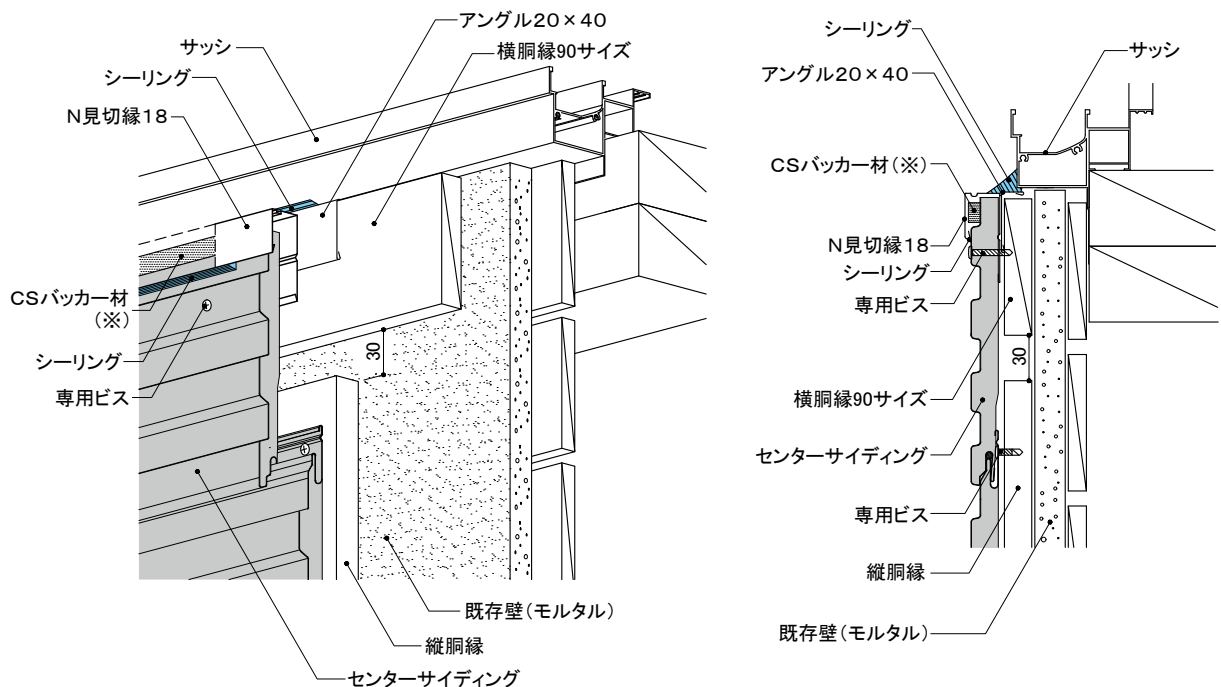
- アングル20×40は胴縁表面を覆うように取り付けます。
- 開口部上は水抜き孔のあるN端部カバーを使用します。N見切縁18を使用する場合は、水抜き孔(φ10mm×300mm間隔)を現場加工します。
- センターサイディング下端が柄凹部の場合は、CSパッカー材を貼り付け、N端部カバーに差し込みます。(※)
- センターサイディングとN端部カバーの取り合い部にシーリングを施工します。



8) 開口部

②下側 N見切縁18+アングル20×40

- アングル20×40は胴縁表面を覆うように取り付けます。
- センターサイディング上端が柄凹部の場合は、CSパッカー材を貼り付け、N見切縁18に差し込みます。(※)
- センターサイディングを表面から留め付ける場合は、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- センターサイディングとN見切縁18の取り合い部にシーリングを施工します。

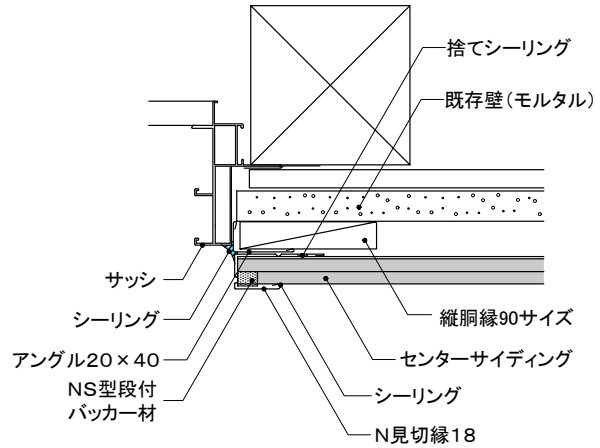
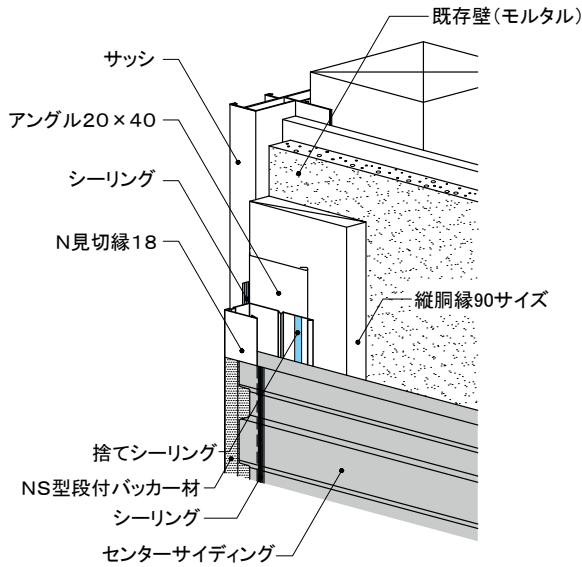


センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	横	縦胴縁@500mm以下

8) 開口部

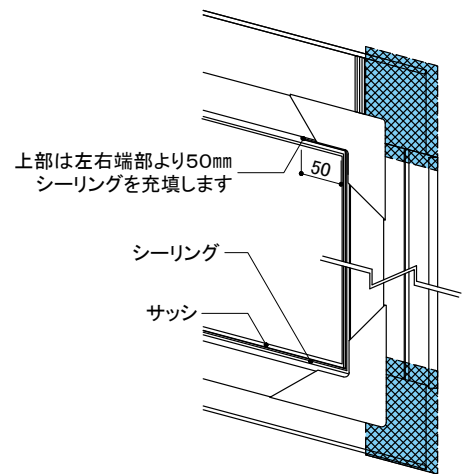
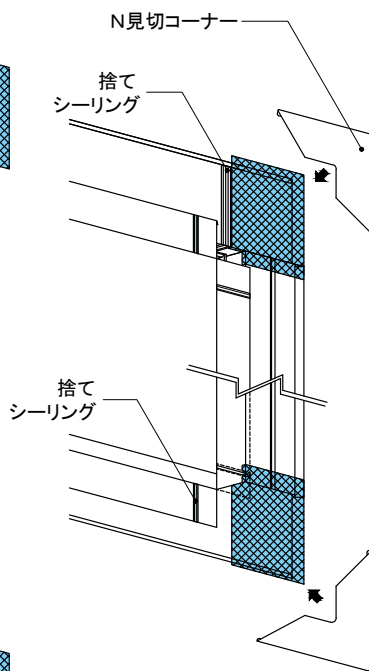
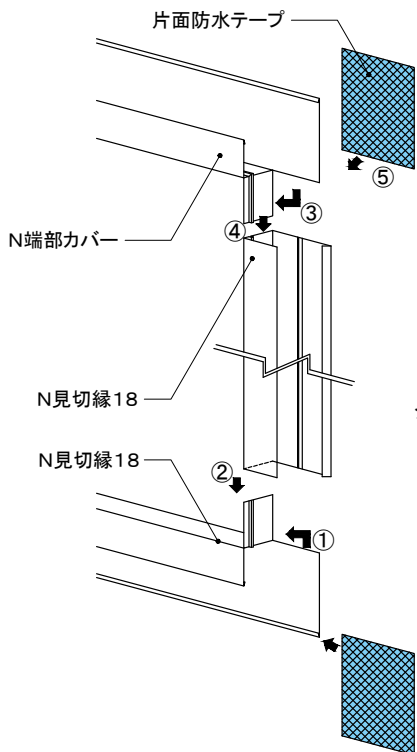
③左右側 N見切縁18+アングル20×40

- アングル20×40は胴縁断面を覆うように取り付けます。
- N見切縁18に、図のように捨てシーリングを施工します。
- センターサイディング端部に、NS型段付バッカー材を貼り付け、N見切縁18に差し込みます。
- センターサイディングとN見切縁18の取り合い部にシーリングを施工します。



8) 開口部

④角部 N端部カバー+N見切縁18



設計
外壁
リフォーム

事前
調査の
方法

標準
施工
法

モ
エン
サイ
ディ
ング

モ
エン
サイ
ディ
ング

モ
エン
サイ
ディ
ング

設計
屋根
リフォー
ム

セ
ン
タ
ー
ル
ー
フ

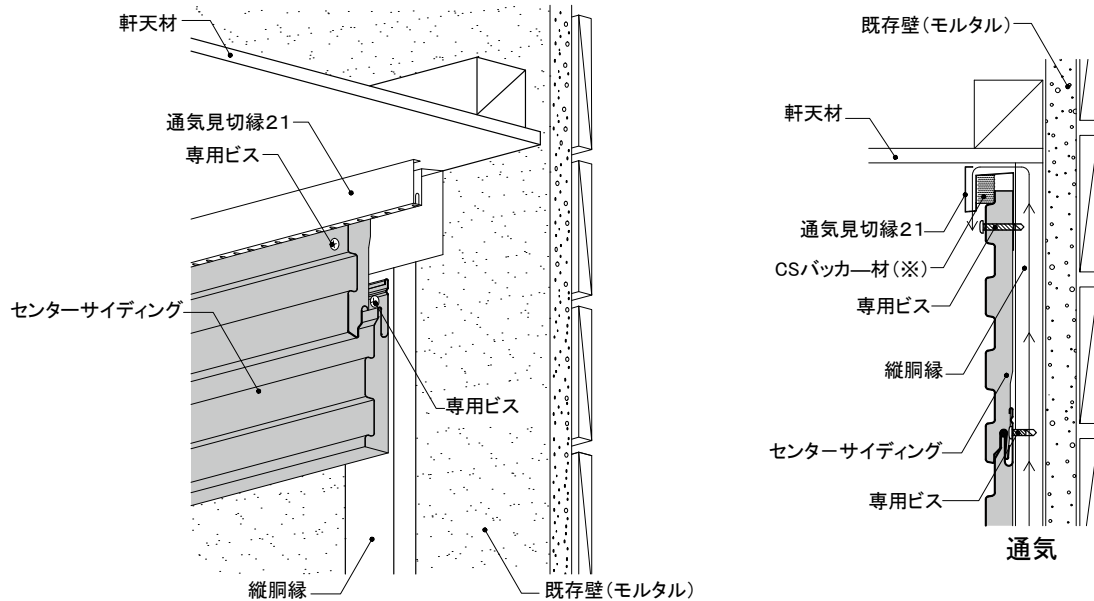
ア
ル
マ

参
考
資
料

センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	横	縦胴縁@500mm以下

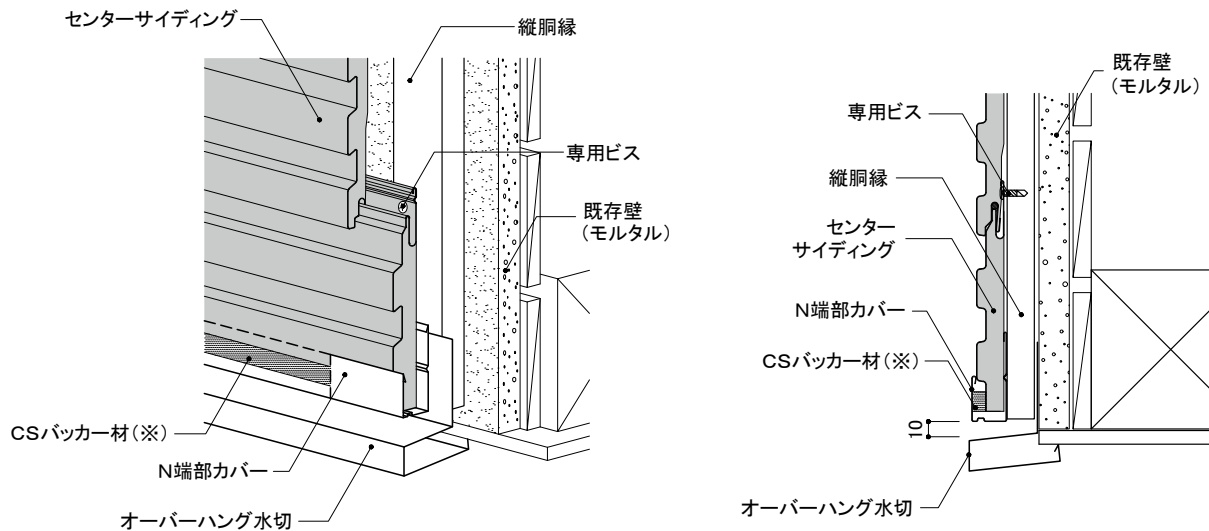
9) 軒天部	通気見切縁21
--------	---------

- センターサイディング施工前に、通気見切縁21を図の位置に取り付けます。
- センターサイディング上端が柄凹部の場合は、CSバック材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングは通気見切縁21に差し込み、表面から留める場合は専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×27mm)で留め付けます。



10) オーバーハング部	オーバーハング水切 + N端部カバー
--------------	--------------------

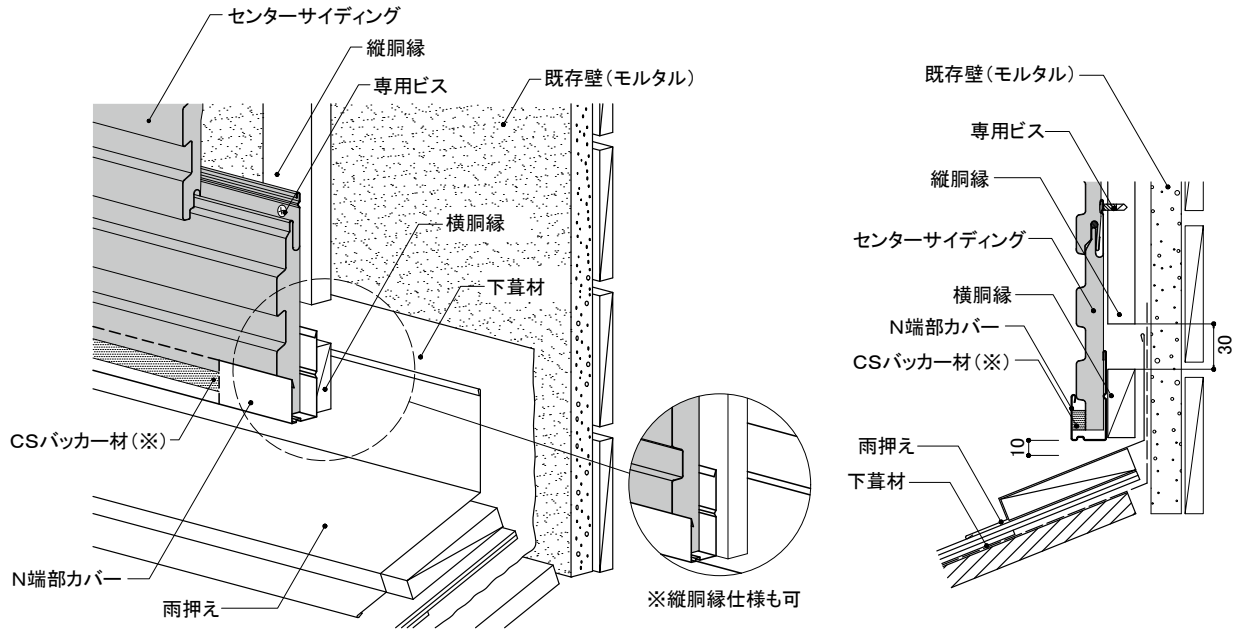
- センターサイディング下端が柄凹部の場合は、必要に応じてCSバック材を貼り付けます。(※)
- N端部カバーは胴縁ごとに専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で水平に留め付けます。
- N端部カバーとオーバーハング水切の間に、10mmの隙間を設けます。



センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	横	縦胴縁@500mm以下

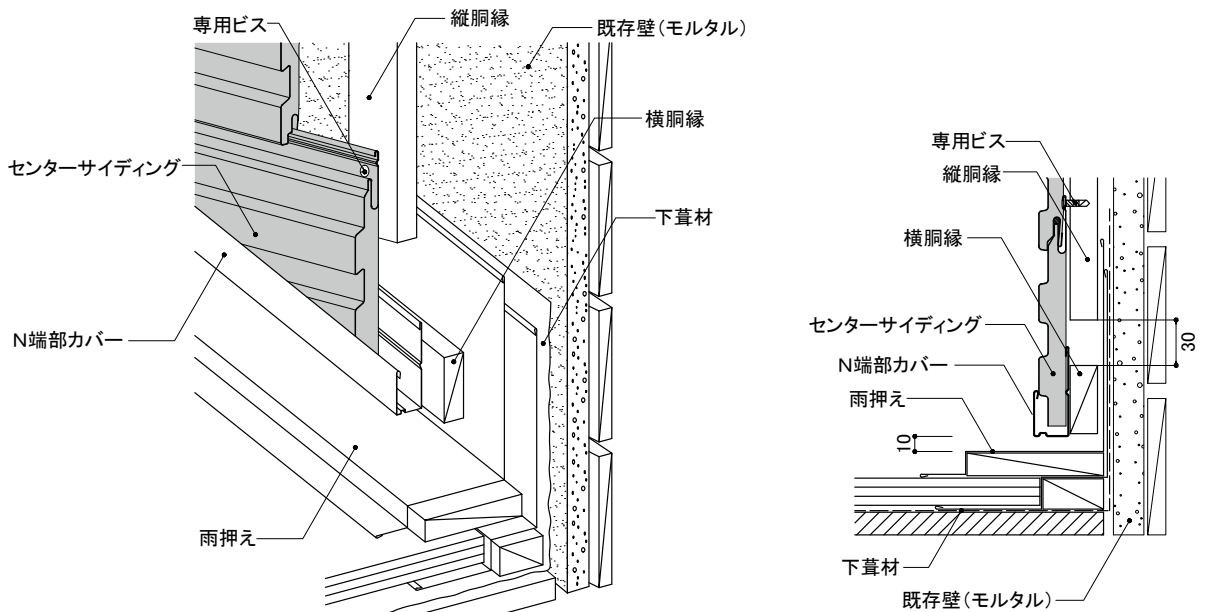
11) 下屋根部	①棟側 N端部カバー
----------	------------

- N端部カバー下端と雨押えの間に、10mm程度の隙間を設けます。
- センターサイディング下端が柄凹部の場合は必要に応じてCSバッカー材を貼り付け、N端部カバーに差し込みます。



11) 下屋根部	②流れ側 N端部カバー
----------	-------------

- N端部カバー下端と雨押えの間に、10mm程度の隙間を設けます。なお、流れ側にはCSバッカー材は不要です。



設計
外壁リフォーム

事前調査の方法

標準施工法
外壁リフォーム

モエンサイディング
重ね張り工法

モエンサイディング
張り替え工法

センターサイディング
重ね張り工法

屋根リフォーム
設計

センターリーフ
重ね葺き工法

アルマ
重ね葺き工法

参考資料

6-5 重ね張り工法の納まり詳細図

センターサイディング

縦張り

既存外壁
モルタル仕様

1)基本構成図・下地組図	
2)主要部材一覧表	
3)土台部	①水切34 ②水切34+N端部カバー
4)上下接合部	①中間水切18 ②中間水切18+N端部カバー
5)左右接合部	
6)入隅部	①土台 N見切縁18+N端部カバー ②軒天 通気見切縁16
7)出隅部	①土台 S出隅鋼板受け18+S出隅カバー ②軒天 通気見切縁21
8)開口部	①上側 N端部カバー+アングル20×40 ②下側 N見切縁18+アングル20×40 ③左右側 N見切縁18+アングル20×40 ④角部 N端部カバー+N見切縁18
9)軒天部	通気見切縁21
10)オーバーハング部	①オーバーハング水切 ②オーバーハング水切+N端部カバー
11)下屋根部	①棟側 ②棟側 N端部カバー ③流れ側 ④流れ側 N端部カバー

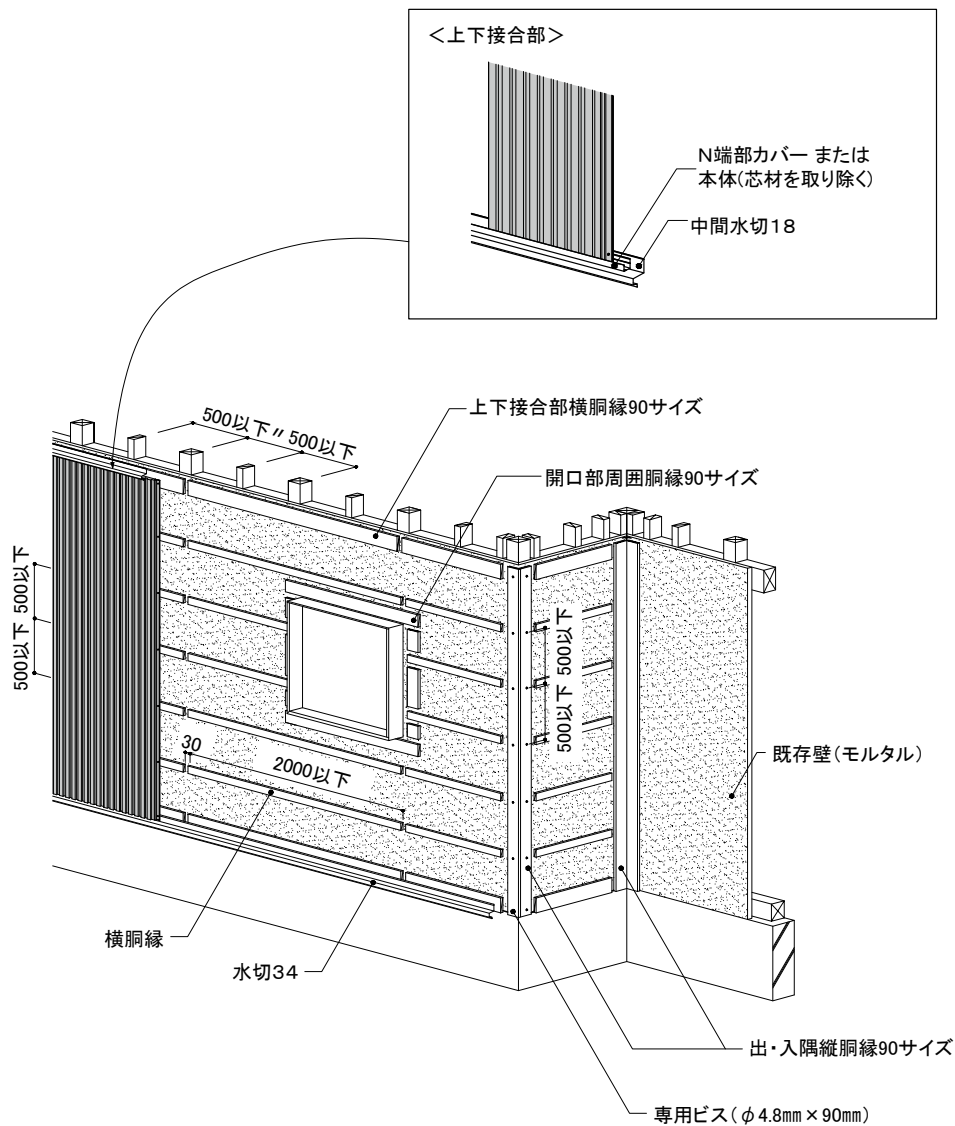
本章は、基本的な納まり例を記載していますので、注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

※本章はNS型ネオスパンプレミアムで作図しております。

センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	縦	横胴縁@500mm以下

1) 基本構成図・下地組図

- 水切34を胴縁に取り付けます。
- 木胴縁は、厚み18mm以上の乾燥材を使用します。
- 木胴縁の幅は45mm以上を標準サイズとし、出入隅部や上下接合部、開口部まわりなどの指定箇所には倍幅の90mm、または45mm幅2本組みとします。
- 木胴縁は留め付ける前に既存のモルタル下地の不陸状態を確認し、不陸は不陸調整材などを用いて、専用ビス(φ4.8mm×90mm)を使用して500mm以下の間隔で躯体に留め付けます。
(不陸調整方法:P36参照)
- 下地組みは必ず通気ができるように、2000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。
- 横胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。



設計
外壁リフォーム

事前調査の方法

標準施工法
外壁リフォーム

モエンサイディング
重ね張り工法

モエンサイディング
張り替え工法

センターサイディング
重ね張り工法

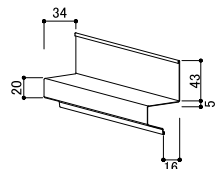
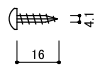
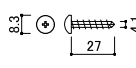
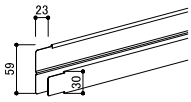
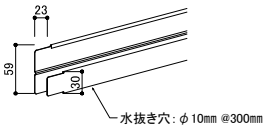
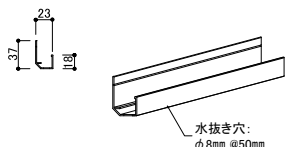
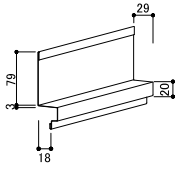
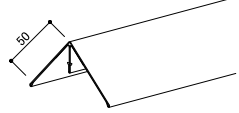
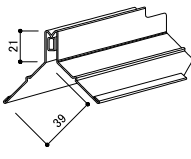
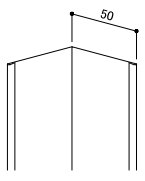
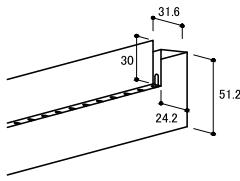
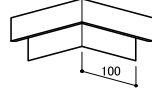
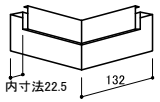
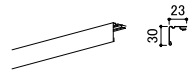
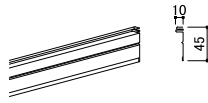
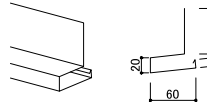
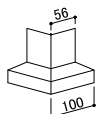
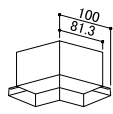
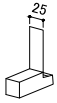
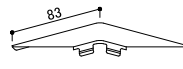
設計
屋根リフォーム

センタールーフ
重ね葺き工法

アルマ
重ね葺き工法

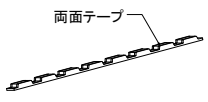
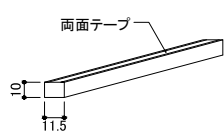
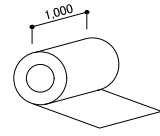
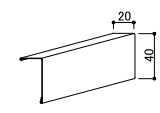
参考資料

センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	縦	横胴縁@500mm以下

2) 主要部材一覧表			
<p>■水切</p>  <p>水切34 【品番:AMZ7F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>	<p>■留付ビス(実部)</p>  <p>重ね張り工法用専用ねじ 【品番:JK1130】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×16mm</p>	<p>■留付ビス(表面)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1710】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×27mm</p>	<p>■見切縁</p>  <p>N見切縁18 【品番:AMKEF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>
<p>■端部カバー</p>  <p>N端部カバー 【品番:AMKFF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm 水抜き穴:φ10mm @300mm</p>	<p>■端部カバー(土台部)</p>  <p>アルミ端部カバー 【品番:AMKDF09*】 材質:アルミ 厚み:1.2mm 長さ:3,030mm 水抜き穴:φ8mm @50mm 備考:積雪地向け</p>	<p>■中間水切</p>  <p>中間水切18 【品番:ATM6F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>	<p>■出隅カバー</p>  <p>S出隅カバー 【品番:ADS2*0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>
<p>■出隅鋼板受け</p>  <p>S出隅鋼板受け18 【品番:ADU1F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ:3,030mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3,030mm</p>	<p>■通気見切縁</p>  <p>通気見切縁21 【品番:FTM21**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>	<p>■通気見切縁出隅</p>  <p>通気見切縁21出隅 【品番:FTM21**B】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm</p>
<p>■通気見切縁入隅</p>  <p>通気見切縁21入隅 【品番:FTM21**D】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm</p>	<p>■廻り縁カバー</p>  <p>N廻り縁カバー18 【品番:AMW8F***】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ:3,030mm</p>	<p>■廻り縁受け</p>  <p>S廻り縁鋼板受け 【品番:AMW3F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3,030mm</p>	<p>■オーバーハング水切</p>  <p>オーバーハング水切 【品番:JOH72**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>
<p>■オーバーハング水切出隅</p>  <p>オーバーハング水切出隅 【品番:JOH72**B】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:100mm</p>	<p>■オーバーハング水切入隅</p>  <p>オーバーハング水切入隅 【品番:JOH72**D】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:100mm</p>	<p>■オーバーハング水切 エンドキャップ</p>  <p>オーバーハング水切エンドキャップ 【品番:JOH72**C】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm</p>	<p>■見切コーナー</p>  <p>N見切コーナー 【品番:AMC****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm</p>

※各部材は、2022年3月時点のものです。最新の情報はNICHIIA金属製外壁材・屋根材総合カタログでご確認ください。

センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	縦	横胴縁@500mm以下

2) 主要部材一覧表			
<p>■段付バッカー材</p>  <p>NS型段付バッカー材 【品番:ABK4Q0JL】 材質:発泡ポリエチレン 幅:13mm 長さ:385mm</p>	<p>■バッカー材</p>  <p>CSバッカー材 【品番:ABK5Q0J3】 材質:EPDM 幅:11.5mm 厚み:10mm 長さ:2,000mm</p>	<p>■共板</p>  <p>共板フラット 【品番:ECL1F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 幅:1,000mm×長さ10m</p>	<p>■アングル</p>  <p>アングル20×40 【品番:AAN1****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>

※各部材は、2022年3月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA金属製外壁材・屋根材総合カタログでご確認ください。

設計
外壁リフォーム

事前調査の方法

標準施工法
外壁リフォーム

重ね張り工法
モエンサイディング

張り替え工法
モエンサイディング

センターサイディング
重ね張り工法

設計
屋根リフォーム

重ね葺き工法
センタールーフ

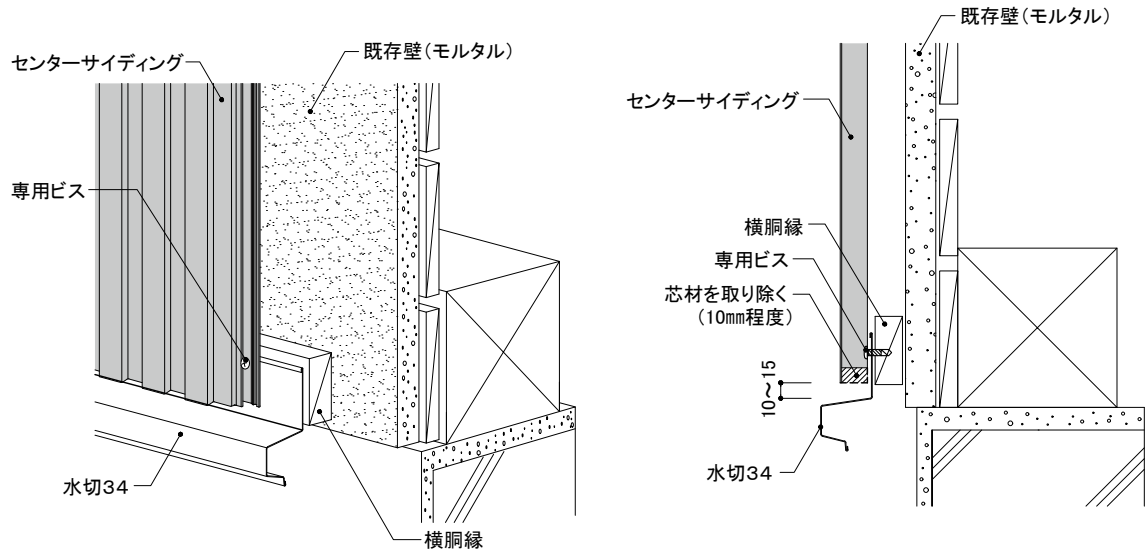
重ね葺き工法
アルマ

参考資料

センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	縦	横胴縁@500mm以下

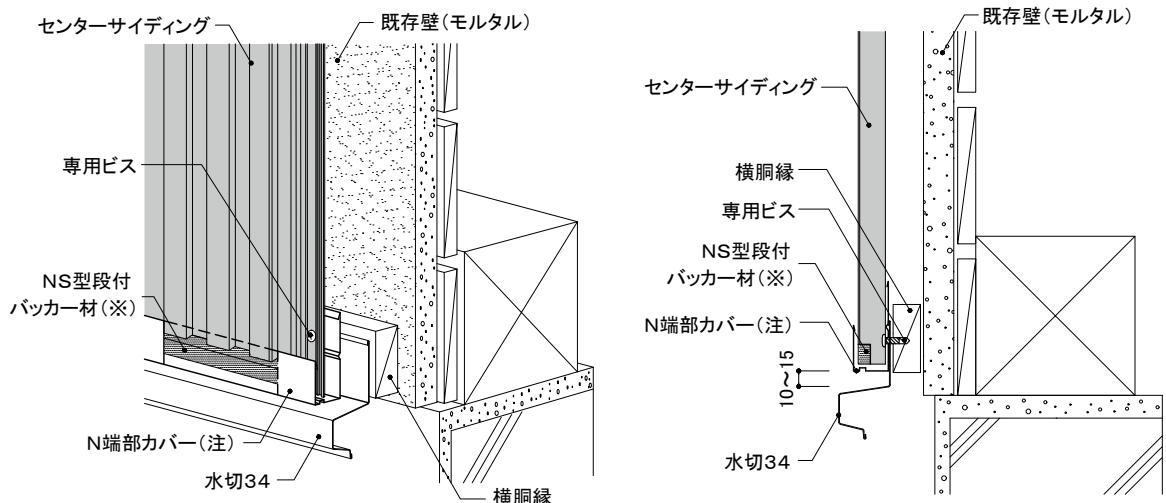
3) 土台部	①水切34
--------	-------

- 水切34は、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)を用いて、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- センターサイディング下端の芯材を、10mm程度取り除きます。
- センターサイディング下端と水切34の間に、10～15mmの隙間を設けます。
- センターサイディングは、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で実部に留め付けます。



3) 土台部	②水切34+N端部カバー
--------	--------------

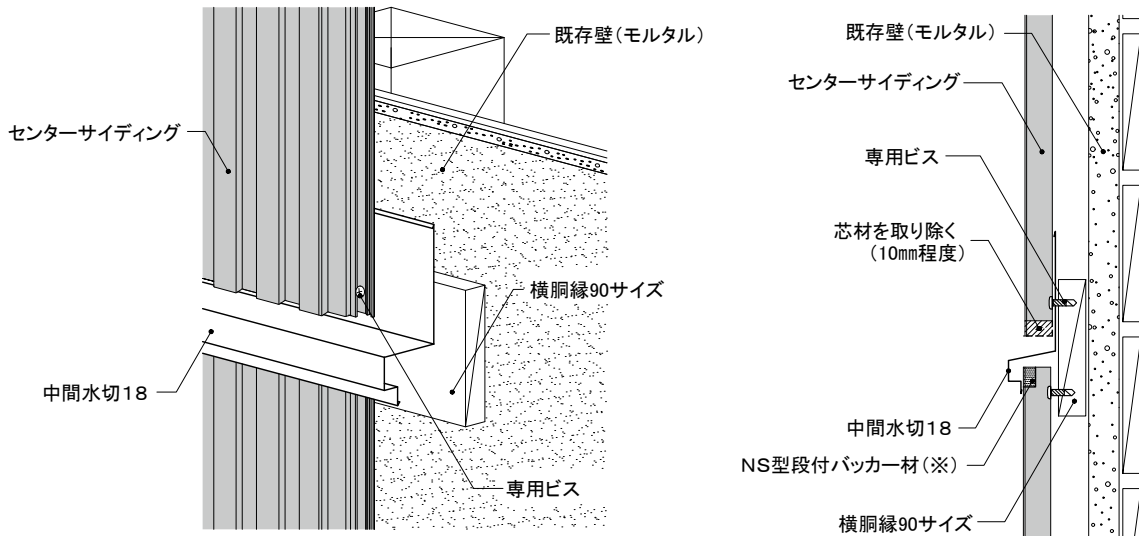
- 水切34は、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)を用いて、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
 - N端部カバーは、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)を用いて、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
 - N端部カバー下端と水切34の間に、10～15mmの隙間を設けます。
 - センターサイディング下端は必要に応じてNS型段付バッカー材を貼り付け、N端部カバーに差し込みます。(※)
 - センターサイディングは専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で実部に留め付けます。
- (注)降雪量の多い地域では鋼板製のN端部カバーなどを使用せず、本体の芯材を取り除くかアルミ端部カバーを使用します。なお、アルミ端部カバーを使用する場合、NS型段付バッカー材は不要です。



センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	縦	横胴縁@500mm以下

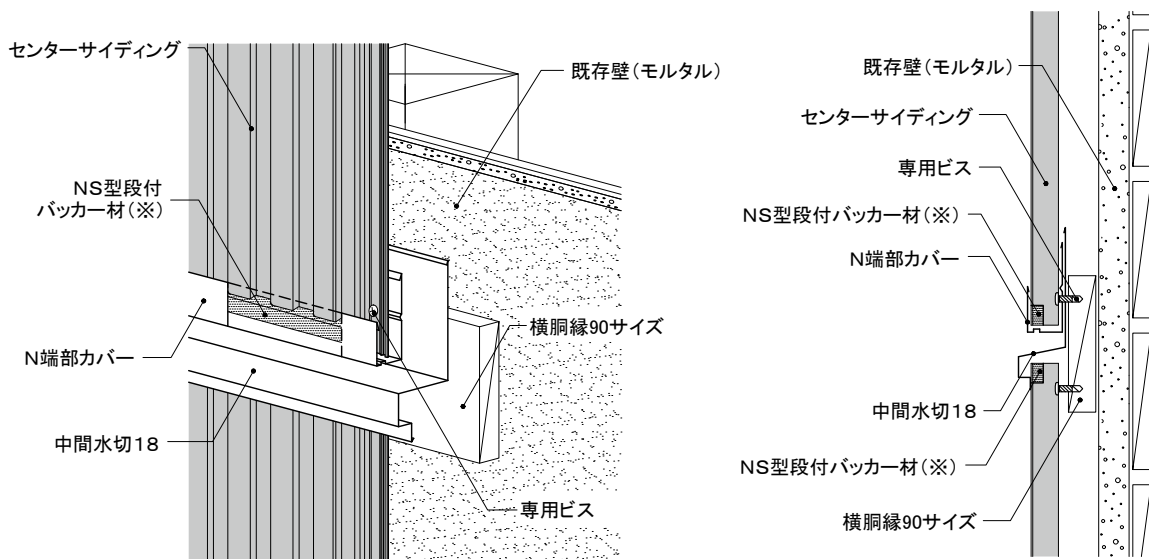
4) 上下接合部	① 中間水切18
----------	----------

- 中間水切18の下側に施工するセンターサイディングの上端に、必要に応じてNS型段付パッカー材を貼り付けます。(※)
- 中間水切18は、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)を用いて、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- 中間水切18上側に施工するセンターサイディングは、下端の芯材を10mm程度取り除きます。
- 中間水切18と上側に施工するセンターサイディング下端の間に、10mm程度の隙間を設けます。
- センターサイディングは専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で実部に留め付けます。



4) 上下接合部	② 中間水切18+N端部カバー
----------	-----------------

- 中間水切18の下側に施工するセンターサイディングの上端、および上側に施工するセンターサイディングの下端には、必要に応じてNS型段付パッカー材を貼り付けます。(※)
- 中間水切18は、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)を用いて、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- N端部カバーは、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)を用いて、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- N端部カバー下端と中間水切18の間に、10mm程度の隙間を設けます。
- センターサイディングは専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で留め付けます。



設計
外壁
リフォーム

事前
調査
の方法

標準
施工
法
外壁
リフォーム

モ
エン
サイ
ディ
ング
重
ね
張
り
工
法

モ
エン
サイ
ディ
ング
張
り
替
え
工
法

セ
ン
タ
ー
サイ
ディ
ング
重
ね
張
り
工
法

屋
根
リ
フ
ォ
ー
ム
設計

セ
ン
タ
ー
ル
ーフ
重
ね
葺
き
工
法

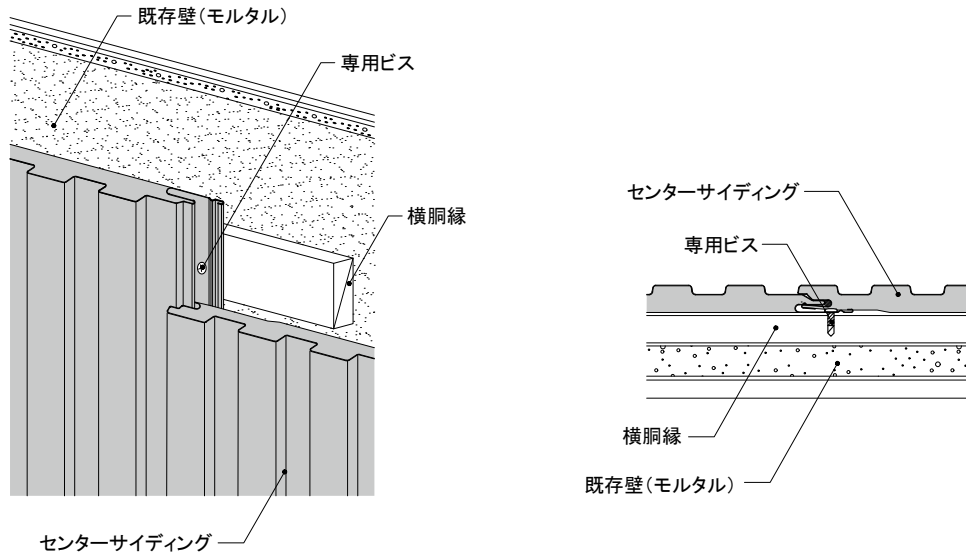
ア
ル
マ
重
ね
葺
き
工
法

参
考
資
料

センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	縦	横胴縁@500mm以下

5) 左右接合部

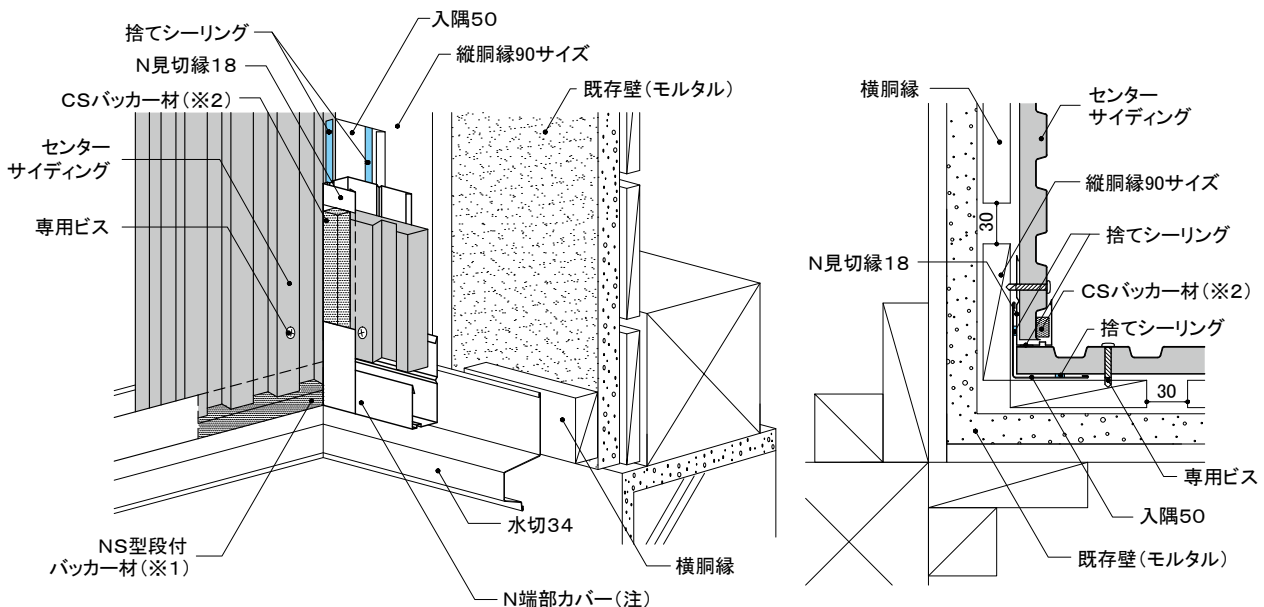
- 実を確実に嵌合させ、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で実部に留め付けます。
- 本体2枚ごとに働き幅と水平を確認しながら施工します。



6) 入隅部

①土台 N見切縁18+N端部カバー

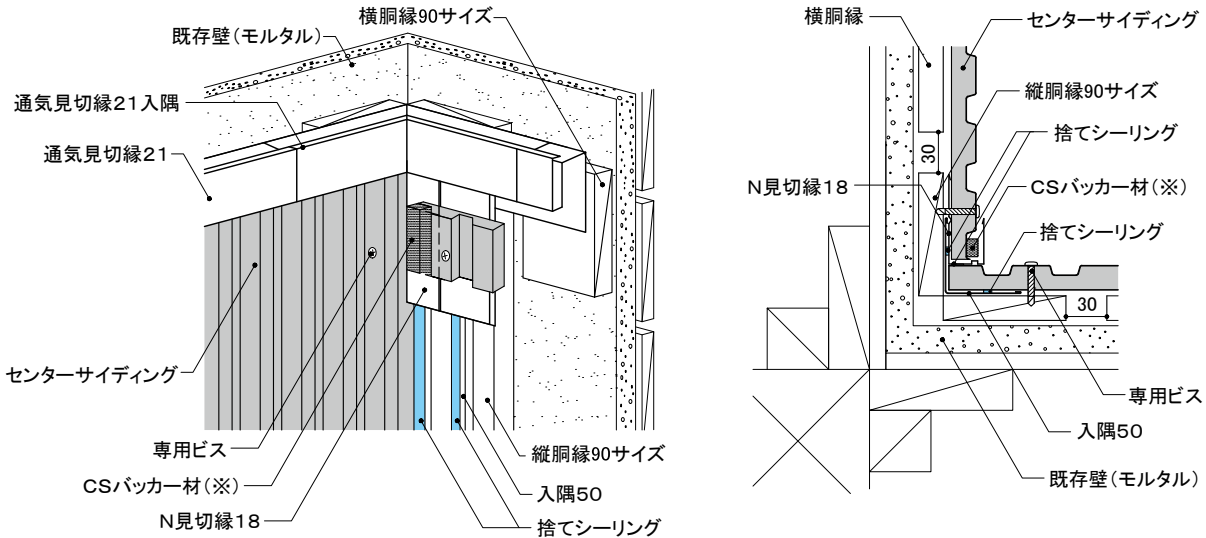
- 入隅50を取り付け、捨てシーリングを図のように両側端部に施工します。
 - センターサイディング下端は必要に応じてNS型段付バッカー材を貼り付け、N端部カバーに差し込みます。(※1)
 - 図のように捨てシーリングを施工し、N見切縁18を取り付けます。
 - センターサイディング端部が柄凹部でN見切縁18に隙間ができる場合は、必要に応じて図のようにCSバッカー材を貼り付けます。(※2)
 - センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面から専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- (注)降雪量の多い地域では鋼板製のN端部カバーなどを使用せず、本体の芯材を取り除くかアルミ端部カバーを使用します。なお、アルミ端部カバーを使用する場合、NS型段付バッカー材は不要です。



センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	縦	横胴縁@500mm以下

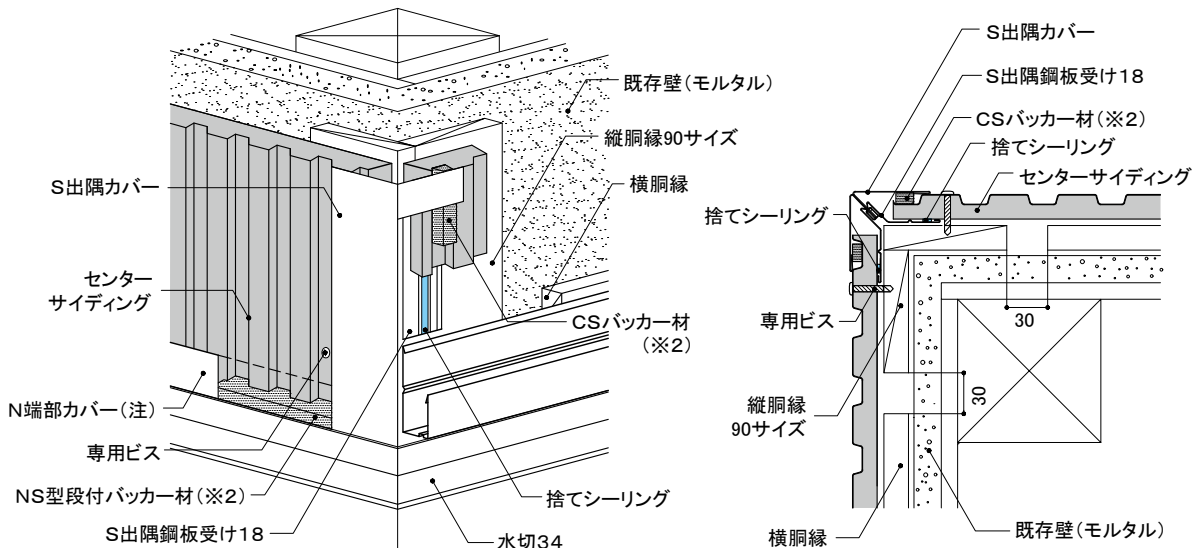
6) 入隅部	②軒天 通気見切縁21
--------	-------------

- 入隅50を取り付け、捨てシーリングを図のように両側端部に施工します。
- 先施工側のサイディングを施工後、図のように捨てシーリングを施工し、N見切縁18を取り付けます。
- センターサイディング端部が柄凹部でN見切縁18に隙間ができる場合は、必要に応じて図のようにCSバッカー材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面から専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×27mm)で留め付けます。



7) 出隅部	①土台 S出隅鋼板受け18+S出隅カバー
--------	----------------------

- S出隅鋼板受け18を取り付け、捨てシーリングを図のように両側端部に施工します。
 - 各センターサイディング端部に、必要に応じてNS型段付バッカー材を貼り付けます。(※1)
 - センターサイディング端部が柄凹部となりS出隅カバーに隙間ができる場合は、必要に応じて図のようにCSバッカー材を貼り付けます。(※2)
 - センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面から専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×27mm)で留め付けます。
 - S出隅カバーをS出隅鋼板受け18に差し込みます。
- (注)降雪量の多い地域では鋼板製のN端部カバーなどを使用せず、本体の芯材を取り除くかアルミ端部カバーを使用します。なお、アルミ端部カバーを使用する場合、NS型段付バッカー材は不要です。



設計 外壁リフォーム
 事前調査の方法
 標準施工法 外壁リフォーム
 モエンサイディング 重ね張り工法
 モエンサイディング 張り替え工法
 センターサイディング 重ね張り工法
 センターサイディング 屋根リフォーム
 センターサイディング 重ね葺き工法
 アルマ 重ね葺き工法
 参考資料

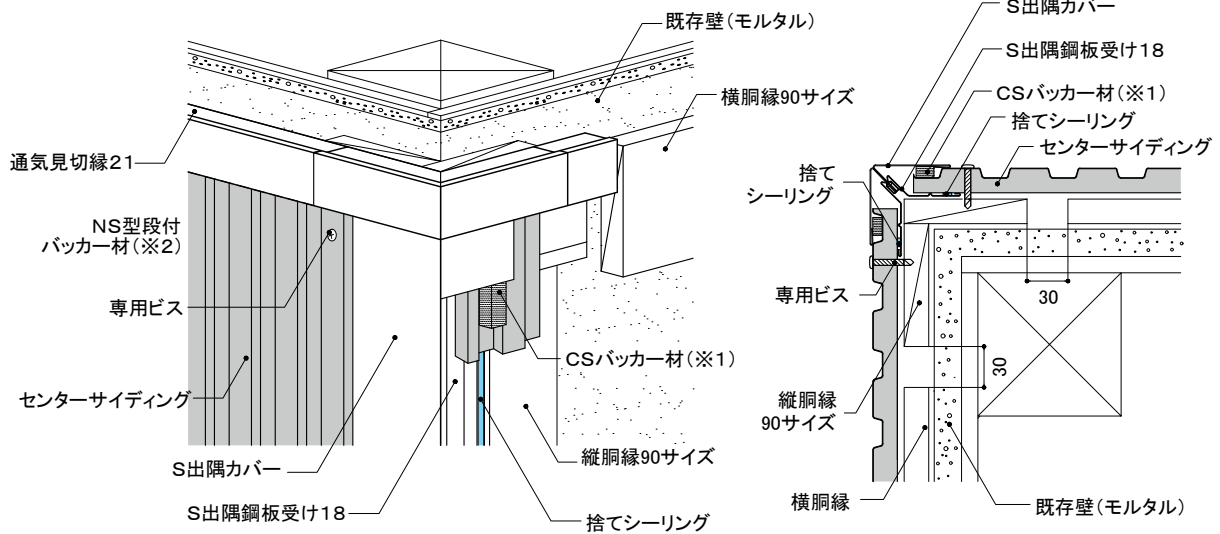
センターサイディング

工法	下地	張り方向	木胴縁組
重ね張り	木造 モルタル	縦	横胴縁@500mm以下

7) 出隅部

②軒天 通気見切縁21

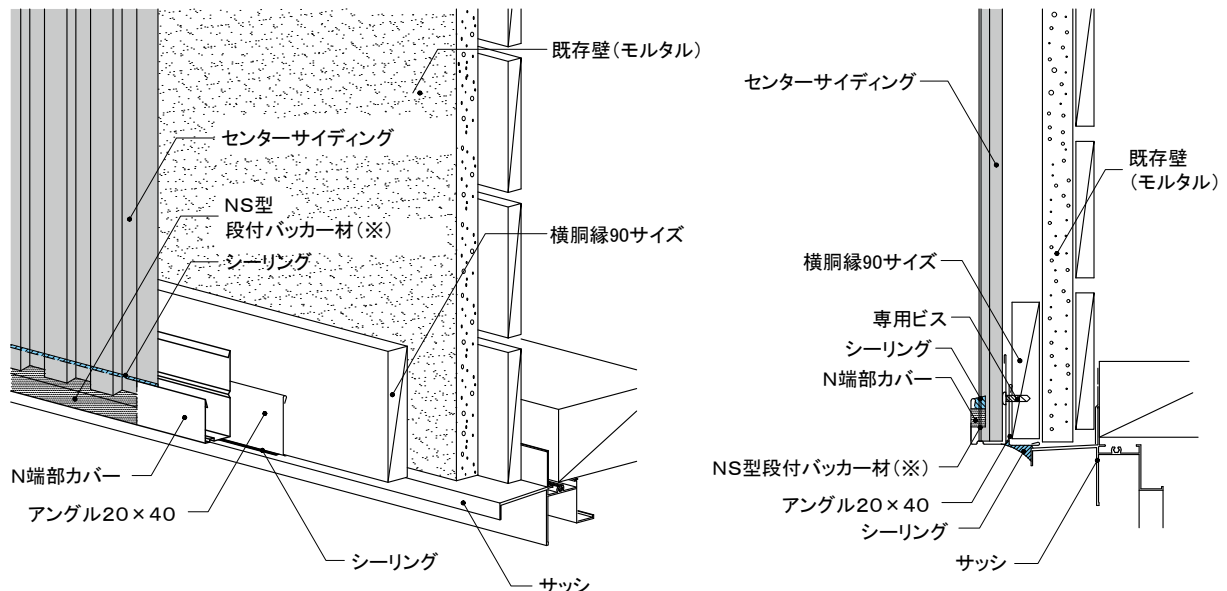
- S出隅鋼板受け18を取り付け、捨てシーリングを図のように両側端部に施工します。
- センターサイディング端部が柄凹部となりS出隅カバーに隙間ができる場合は、必要に応じて図のようにCSバック材を貼り付けます。(※1)
- センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面から専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- センターサイディング上端に必要に応じてNS型段付バック材を貼り付け、通気見切縁21に差し込みます。(※2)
- S出隅カバーをS出隅鋼板受け18に差し込みます。



8) 開口部

①上側 N端部カバー+アンゲル20×40

- アンゲル20×40は胴縁表面を覆うように取り付けます。
- 開口部上は水抜き孔のある端部カバーを使用します。見切縁を使用する場合は、水抜き孔(φ10mm×300mm間隔)を現場加工します。
- センターサイディング下端にNS型段付バック材を貼り付け、N端部カバーに差し込みます。(※)
- センターサイディングは、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で実部に留め付けます。
- センターサイディングとN端部カバーの取り合い部にシーリングを施工します。

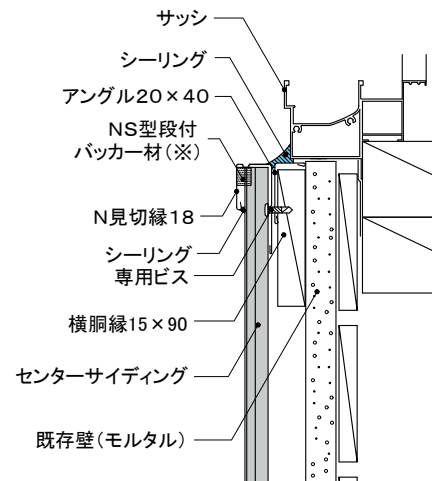
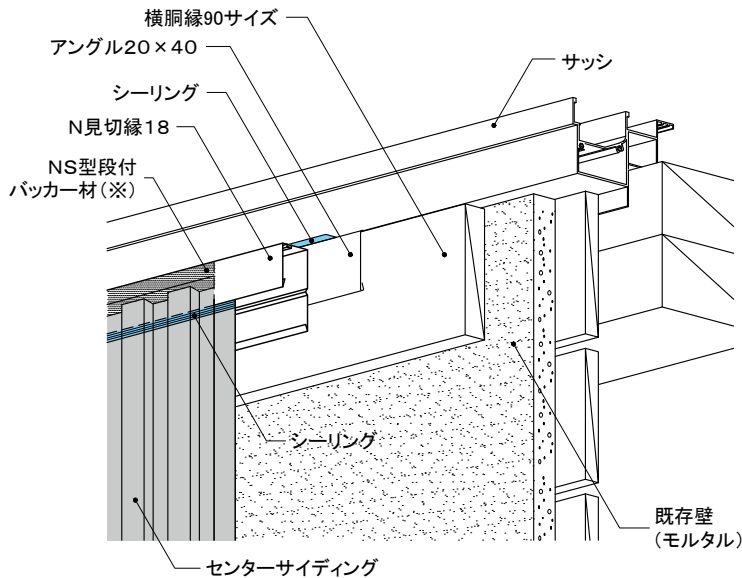


センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	縦	横胴縁@500mm以下

8) 開口部

② 下側 N見切縁18+アングル20×40

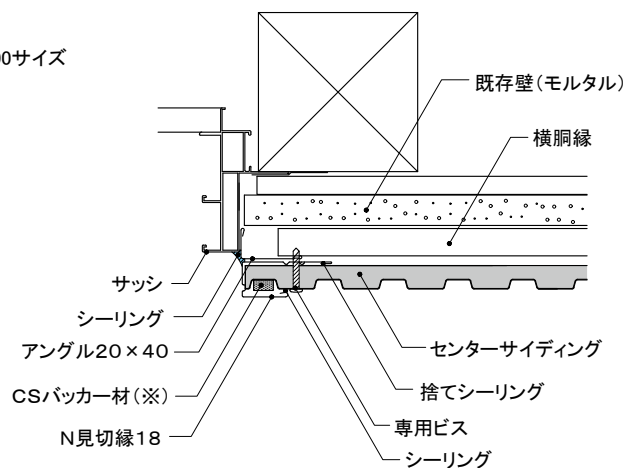
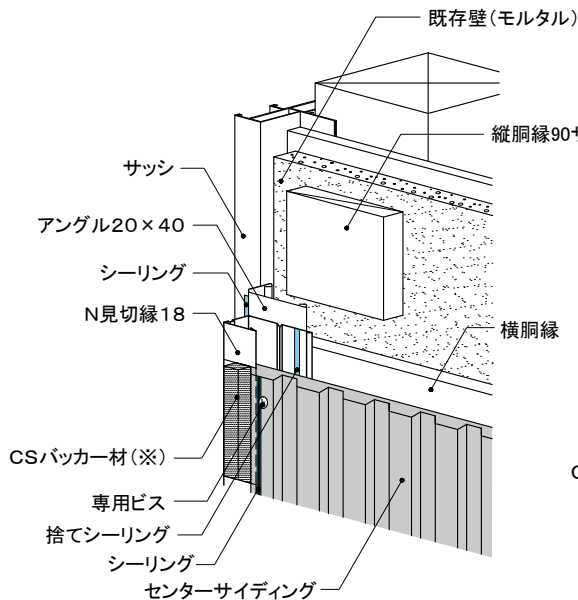
- アングル20×40は胴縁断面を覆うように取り付けます。
- センターサイディング上端にNS型段付バッカー材を貼り付け、N見切縁18に差し込みます。(※)
- センターサイディングは、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で実部に留め付けます。
- センターサイディングとN見切縁18の取り合い部にシーリングを施工します。



8) 開口部

③ 左右側 N見切縁18+アングル20×40

- アングル20×40は胴縁表面を覆うように取り付けます。
- 下図のように捨てシーリングをN見切縁18に施工します。
- センターサイディング端部が柄凹部でN見切縁18に隙間ができる場合は、必要に応じて図のようにCSバッカー材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面から専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- センターサイディングとN見切縁18の取り合い部にシーリングを施工します。



設計
外壁
リフォーム

事前
調査の
方法

標準
施工
法

外壁
リフォーム

モエ
ンサイ
ディ
ング
重ね
張り
工
法

モエ
ンサイ
ディ
ング
張り
替え
工
法

センター
サイ
ディ
ング
重ね
張り
工
法

設計
屋根
リフォ
ーム

セン
ター
ルー
フ
重ね
葺き
工
法

アル
マ
重ね
葺き
工
法

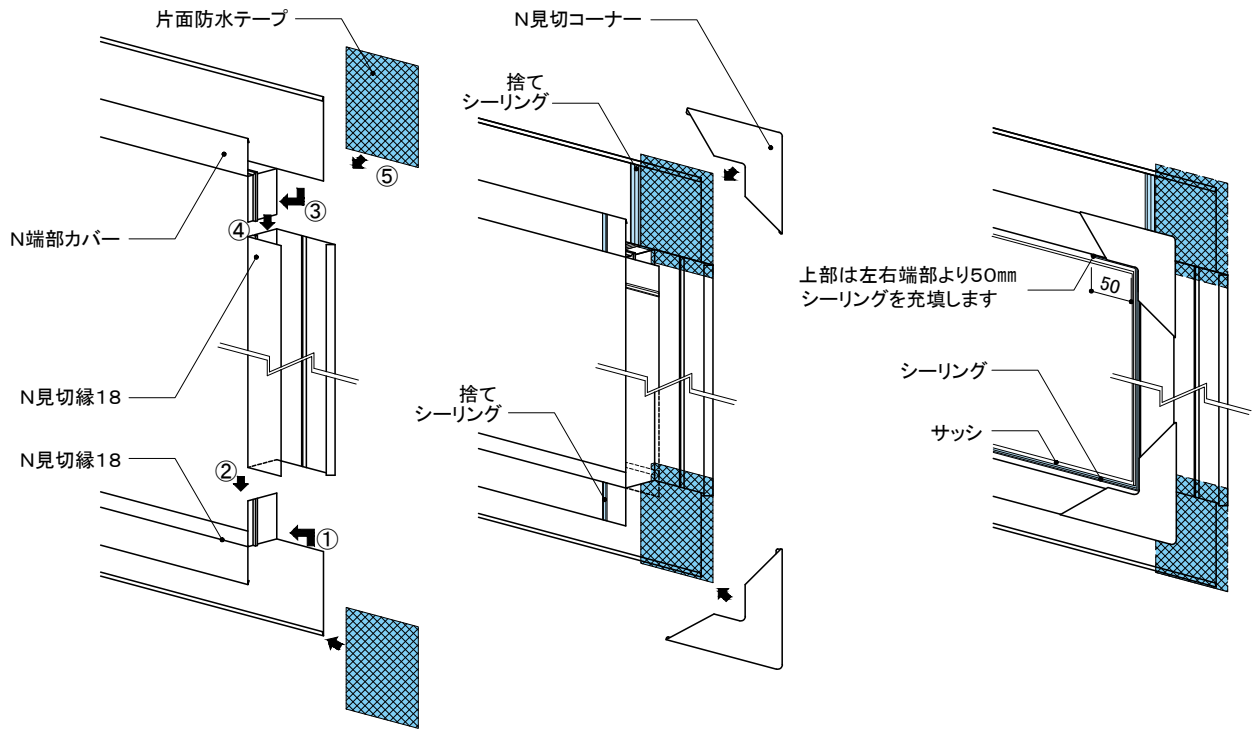
参考
資料

センターサイディング

工法	下地	張り方向	木胴縁組
重ね張り	木造 モルタル	縦	横胴縁@500mm以下

8) 開口部

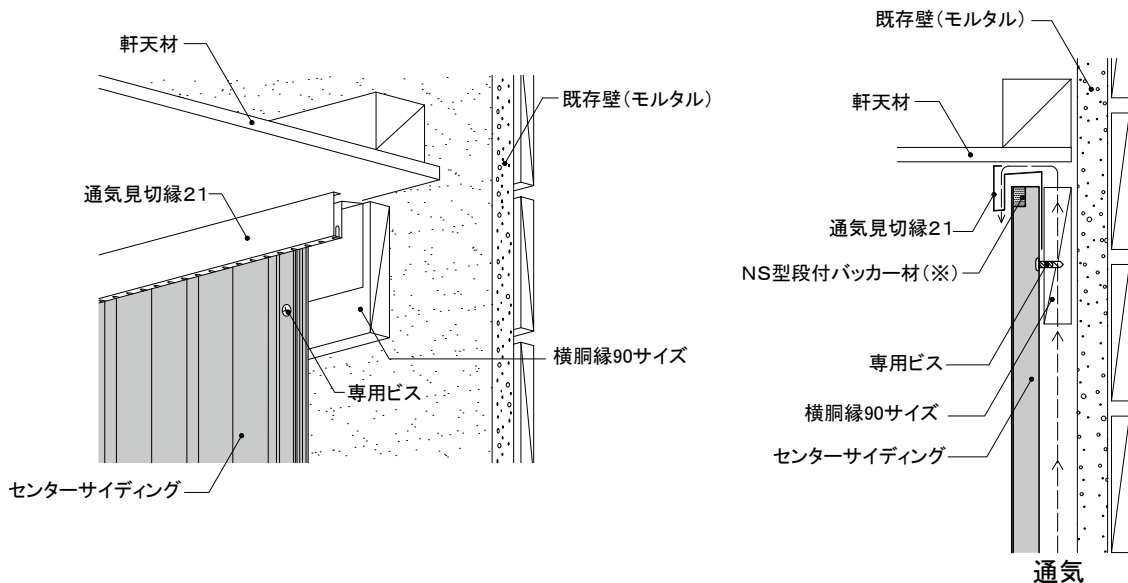
④角部 N端部カバー+N見切縁18



9) 軒天部

通気見切縁21

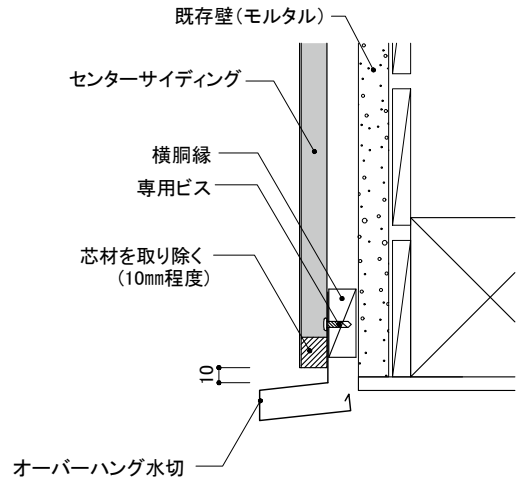
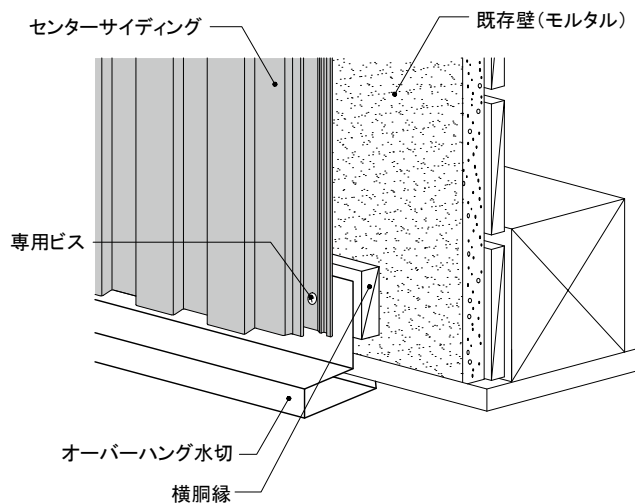
- 通気の妨げにならないように、軒天材と横胴縁は隙間をあけて施工します。
- センターサイディング施工前に通気見切縁21を図の位置に取り付けます。
- センターサイディング上端に、必要に応じてNS型段付パッカー材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングは、専用ビス(ステンレスビスφ4. 1mm×16mm)で実部に留め付けます。



センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	縦	横胴縁@500mm以下

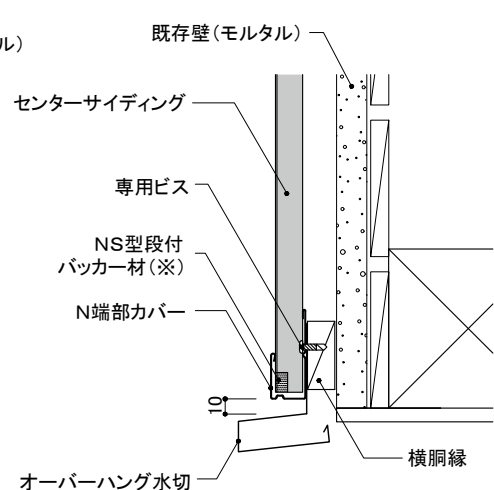
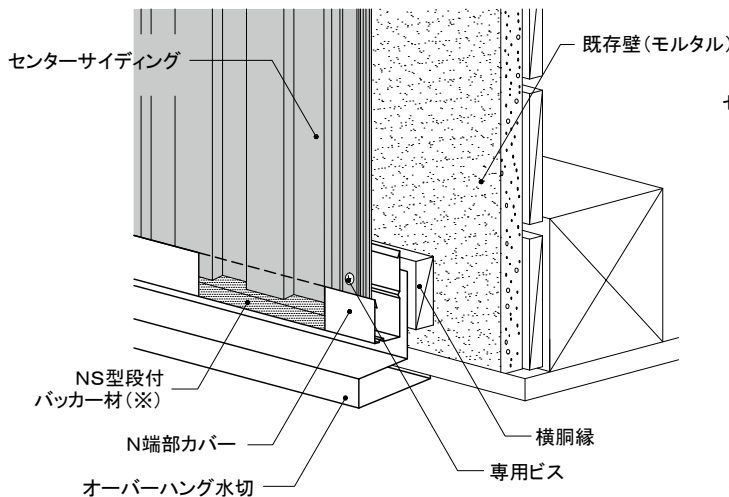
10) オーバーハング部	① オーバーハング水切
--------------	-------------

- オーバーハング水切は、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)を用いて、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- センターサイディング下端の芯材は、10mm程度取り除きます。
- センターサイディング下端とオーバーハング水切の間に、10mmの隙間を設けます。
- センターサイディングは、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で実部に留め付けます。



10) オーバーハング部	② オーバーハング水切+N端部カバー
--------------	--------------------

- オーバーハング水切は、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)を用いて、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- N端部カバーは、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)を用いて、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- N端部カバー下端とオーバーハング水切の間に、10mmの隙間を設けます。
- センターサイディング下端に必要に応じてNS型段付パッカー材を貼り付け、N端部カバーに差し込みます。(※)
- センターサイディングは、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で実部に留め付けます。



設計
外壁
リフォーム

事前
調査
の方法

標準
施工
法

外壁
リフォーム

モエン
サイ
ディ
ング
重ね
張り
工法

モエン
サイ
ディ
ング
張り
替え
工法

センター
サイ
ディ
ング
重ね
張り
工法

設計
屋根
リ
フォ
ーム

センター
ルー
フ
重ね
葺
き
工
法

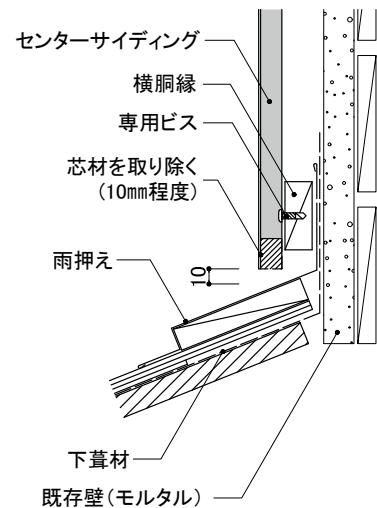
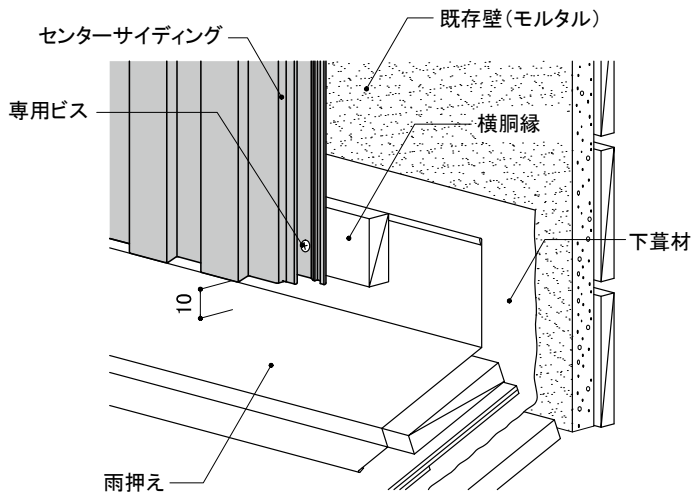
アル
マ
重ね
葺
き
工
法

参考
資料

センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	縦	横胴縁@500mm以下

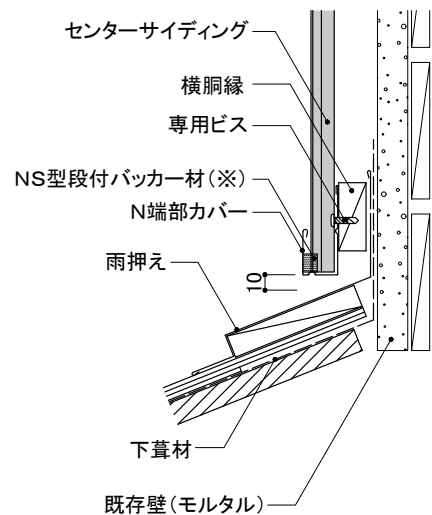
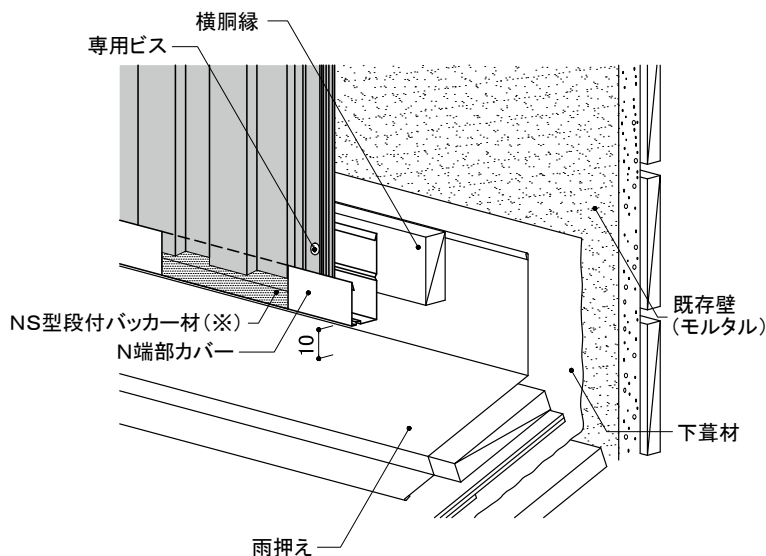
11) 下屋根部	①棟側
----------	-----

- センターサイディング下端の芯材を、10mm程度取り除きます。
- センターサイディング下端と雨押えの間に、10mm程度の隙間を設けます。
- センターサイディングは、専用ビス(ステンレスビスφ4. 1mm×16mm)で実部に留め付けます。



11) 下屋根部	②棟側 N端部カバー
----------	------------

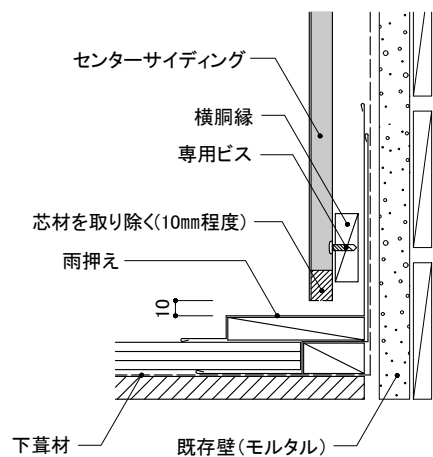
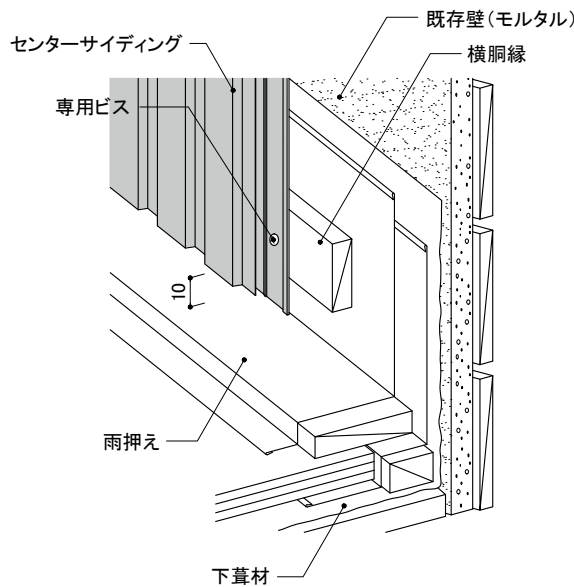
- 端部カバー下端と雨押えの間に、10mm程度の隙間を設けます。
- センターサイディング下端に必要に応じてNS型段付バック材(※)を貼り付け、N端部カバーに差し込みます。(※)
- センターサイディングは、専用ビス(ステンレスビスφ4. 1mm×16mm)で実部に留め付けます。



センターサイディング	工法	下地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	縦	横胴縁@500mm以下

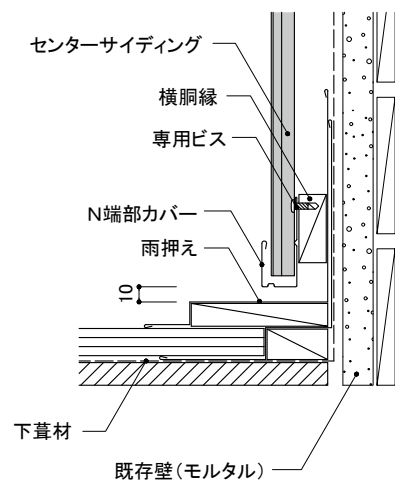
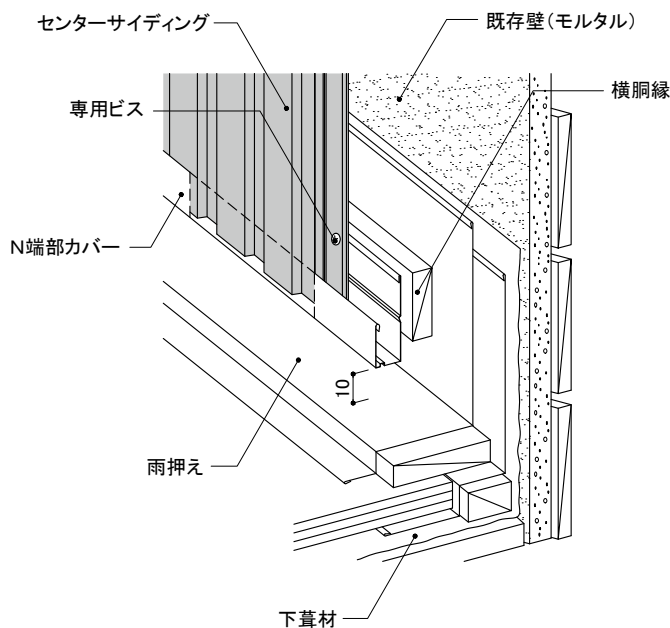
11) 下屋根部	③流れ側
----------	------

- センターサイディング下端の芯材を、10mm程度取り除きます。
- センターサイディング下端と雨押えの間に、10mm程度の隙間を設けます。
- センターサイディングは、専用ビス(ステンレスビスφ4. 1mm×16mm)で実部に留め付けます。



11) 下屋根部	④流れ側 N端部カバー
----------	-------------

- N端部カバー下端と雨押えの間に、10mm程度の隙間を設けます。
- センターサイディングは、専用ビス(ステンレスビスφ4. 1mm×16mm)で実部に留め付けます。なお、流れ側にはNS型段付バッカー材は使用しません。



設計
外壁リフォーム

事前調査の方法

標準施工法
外壁リフォーム

モエンサイディング
重ね張り工法

モエンサイディング
張り替え工法

センターサイディング
重ね張り工法

設計
屋根リフォーム

センタールーフ
重ね葺き工法

アルマ
重ね葺き工法

参考資料

6 センターサイディングの重ね張り工法

6-6 付属部材加工図

①通気見切縁・オーバーハング水切

■通気見切縁 接合部材仕様

手順①

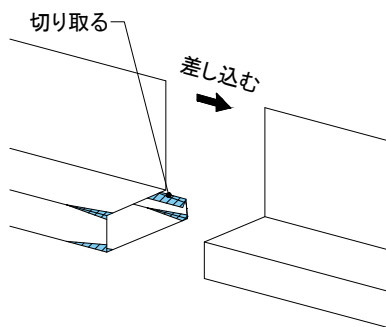
- 接合部材は、センターサイディング施工前に取り付けます。

手順②

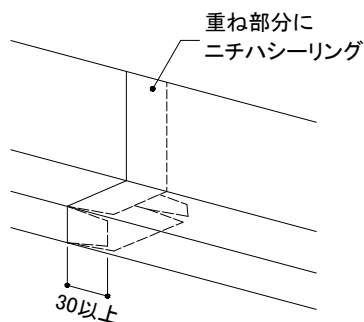


■オーバーハング水切

手順①



手順②



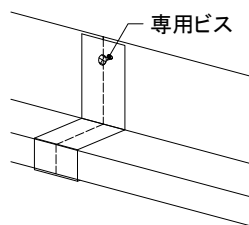
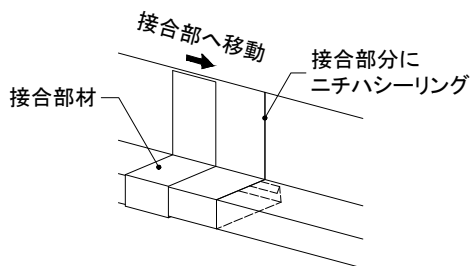
■オーバーハング水切 接合部材仕様

手順①

- あらかじめ、本体に接合部材を差し込みます。本体に傷がつかないようにご注意ください。
- 本体突き付け部に捨てシーリングを施工します。

手順②

- 本体突き付け部まで、接合部材をスライドさせ、専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×16mm)で留め付けます。



※加工例はあくまで一例です。現場の状況に応じて、適宜ご対応ください。

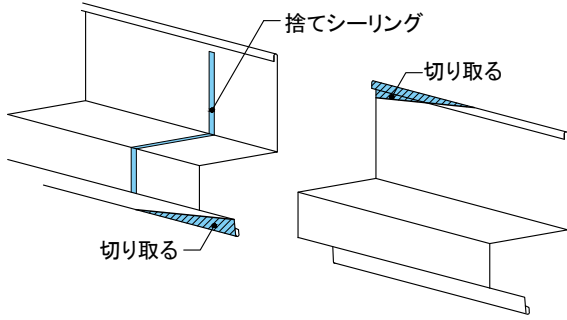
6 センターサイディングの重ね張り工法

6-6 付属部材加工図

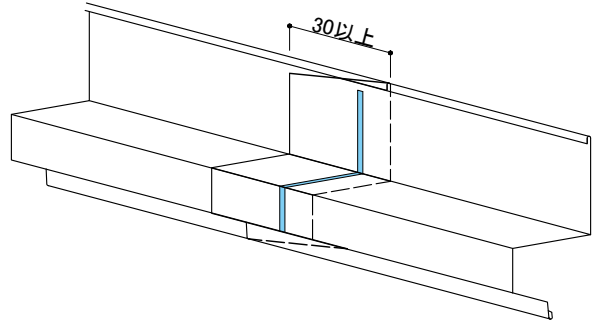
②水切34・中間水切18

■水切の接合方法

手順① 下側水切の端を切り落とし、ビード状に捨てシーリングを施工します。

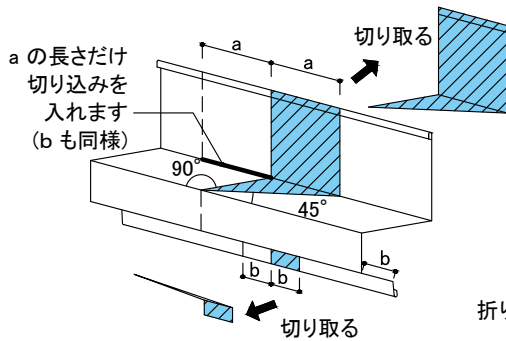


手順② 重ね代を30mm以上取って重ねてください。

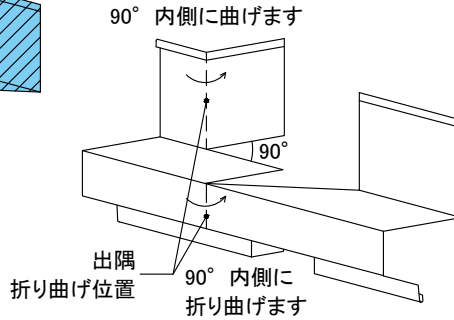


■水切の出隅加工

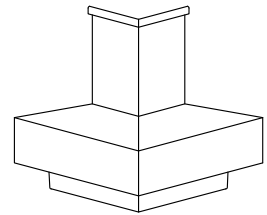
手順①



手順② 立ち上がり部で90° 内側に折り曲げます。

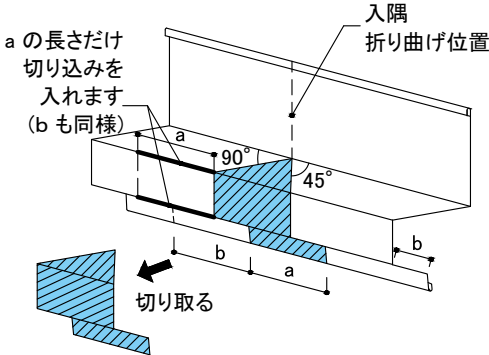


手順③ 出隅折り曲げ位置で90° 内側に曲げます。

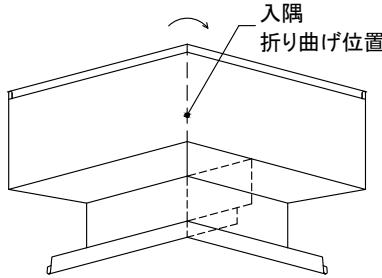


■水切の入隅加工

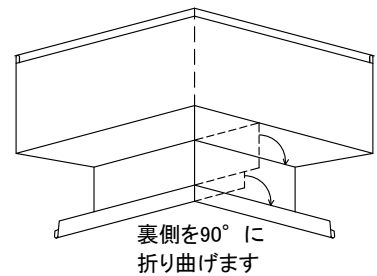
手順①



手順② 入隅折り曲げ位置で90° に折り曲げます。

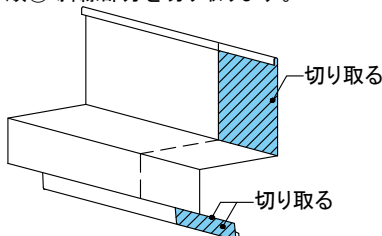


手順③ 裏側を90° に折り曲げます。

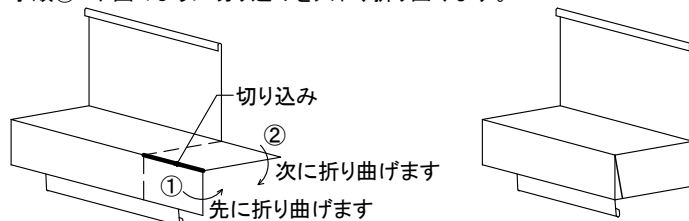


■水切の端部加工

手順① 斜線部分を切り取ります。



手順② 下図のように切り込みを入れ、折り曲げます。



※加工例はあくまで一例です。現場の状況に応じて、適宜ご対応ください。

6 センターサイディングの重ね張り工法

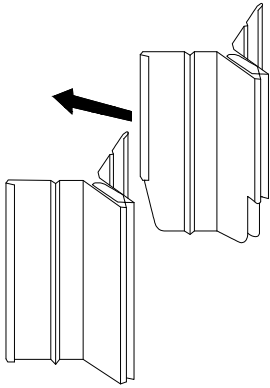
6-6 付属部材加工図

③先付け付属部材

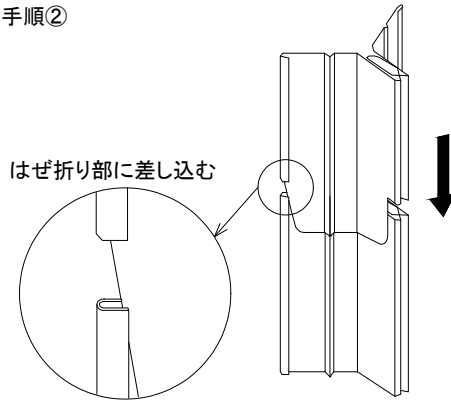
●後付け付属部材(カバーなど)の浮き上がり防止のため、先付け付属部材(受けなど)は十分に押さえて留め付けます。

■S出隅鋼板受け18の接合方法

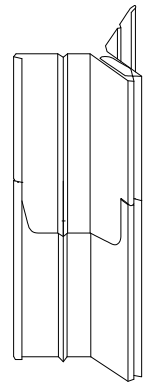
手順①



手順②

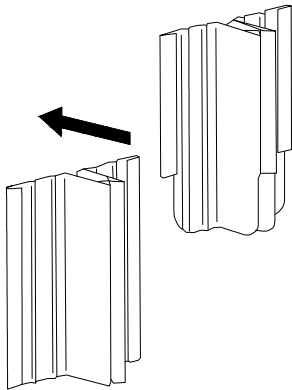


手順③

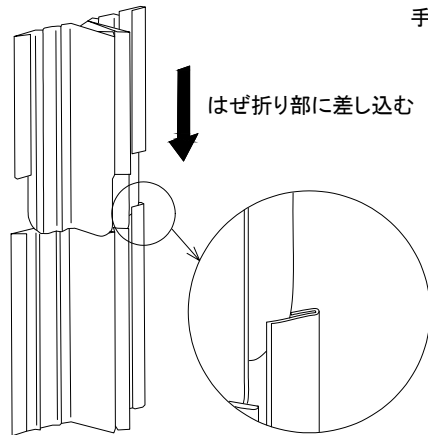


■S目地鋼板受け18、目地鋼板受けの接合方法

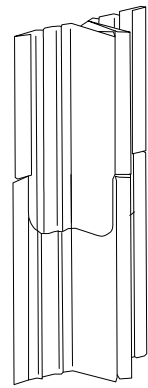
手順①



手順②

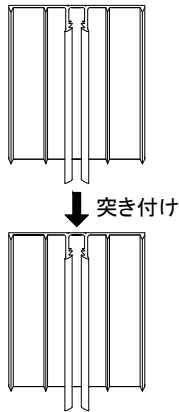


手順③

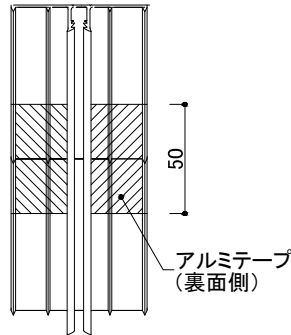


■段目地樹脂受けの接合方法

手順① 樹脂受けどうしを突き付けます。



手順② 幅50mm以上のアルミテープを貼り付けます。



※加工例はあくまで一例です。現場の状況に応じて、適宜ご対応ください。

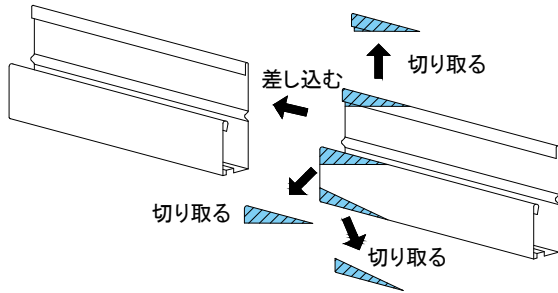
6 センターサイディングの重ね張り工法

6-6 付属部材加工図

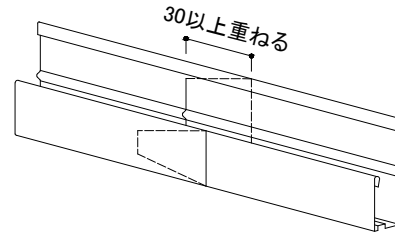
④端部カバー・見切縁

■端部カバー、見切縁の接合方法

手順①

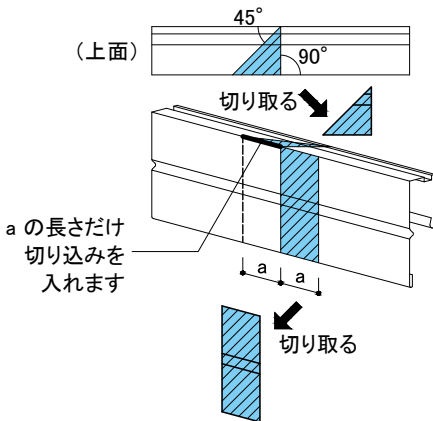


手順②

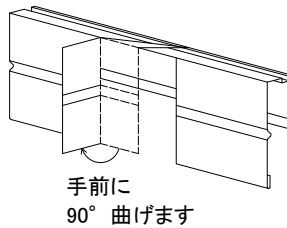


■端部カバー、見切縁の出隅加工

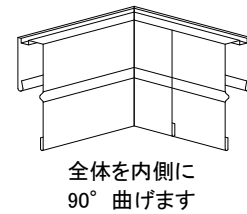
手順①



手順②

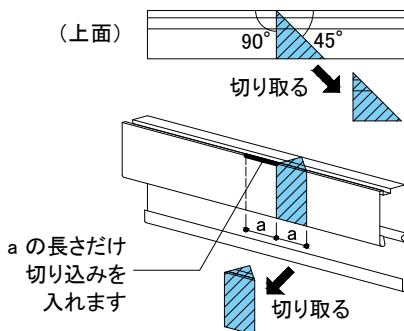


手順③

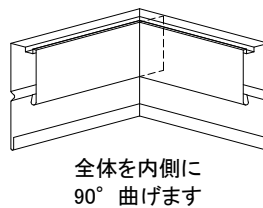


■端部カバー、見切縁の入隅加工

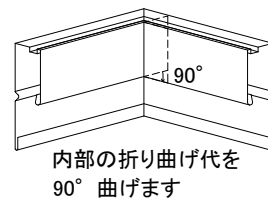
手順①



手順②



手順③



※加工例はあくまで一例です。現場の状況に応じて、適宜ご対応ください。

